令和 7 年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	美術展（岡展）開催		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化芸術の振興
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）
担当所属	社会文化部文化振興課		

事業概要

事業概要
創作活動を行う市民の育成・支援を図るため、「岡崎美術展（岡展）」を開催する。岡展は、審査により展示作品を選定する水準の高い公募展であり、市民だけでなく市外からの出品も対象とし、市民に高い技術・芸術性をもつ作品を制作する契機と鑑賞する機会を提供している。令和6年度で第 77 回を数える伝統ある公募展である。

対象
芸術文化創造の担い手となる市民

手段
会期　令和6年 10 月18日～10 月27日
部門　日本画、洋画、彫刻、工芸、書道、写真、デザインの7部門

意図・成果
主に市民に日ごろの芸術文化活動を表現する場を提供することにより、芸術文化創造の担い手となる人材の育成・支援を図る。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	岡展への応募点数 単位：点	357	329	332	360	360
	市民展への応募点数 単位：点	174	-	-	-	-
定性指標	2022年度達成結果	開催要項・ポスター・市広報・ホームページにより啓発した。				
	2023年度達成結果	開催要項・ポスター・市広報・ホームページにより広く市民に周知・啓発した。				
	2024年度達成結果	開催要項・ポスター・市広報・ホームページにより広く市民に周知・啓発した。				
	2024年度達成基準	開催要項・ポスター・市広報・ホームページにより広く市民に周知・啓発する。				
	2025年度達成基準	開催要項・ポスター・市広報・ホームページにより広く市民に周知・啓発する。				
指標分析	岡展について開催要項・ポスター・市広報・ホームページにより広く啓発し、目標値 360点に対し、実績値 332点となり、前年度実績値より3点上回った。また、新聞に掲載されるなど岡展をより市民に周知することができた。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	2477184	1808403	1858537
	人員（単位：人）	0.62	0.65	0.57

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	美術展(岡展)開催
担当所属	社会文化部文化振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。(時間外勤務が少ない。)
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	2	2	2	3	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	2	2	3	2	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない(あるいは着手されていない)問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	3	4	3	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	文化活動支援		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化芸術の振興
根拠法令要綱	岡崎市文化活動事業費補助金交付要綱等		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（補助等）
担当所属	社会文化部文化振興課		

事業概要

事業概要
根拠法令：岡崎市文化活動事業費補助金交付要綱市内で芸術文化活動事業を行う団体の組織的活動に対して助成する。

対象
文化活動事業費補助　市内で組織的に芸術文化活動を行う団体（岡崎文化協会・岡崎美術協会）

手段
補助金を交付する。市は文化活動事業費の交付団体である岡崎文化協会及び岡崎美術協会の事務局を担当しており、補助金を活動費の一部として、岡崎文化協会では「文協芸能祭」や「文協文化祭」などの事業を、また岡崎美術協会では「美協展」などの事業を実施し、市民の文化活動を助長する。

意図・成果
芸術文化活動事業費補助　文化団体の事業が活発に行われる。文化協会においては、加盟文化団体による芸能祭や文化際、美術展の開催などが、また美術協会においては、美協展などが開催される。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	加盟団体における事業参加団体の割合 単位：%	73	70	67	71	71
	美協展の入場者数 単位：人	1175	1180	1200	1200	1200

定性指標	
2022年度達成結果	文協：「岡崎文化」45 号を発行し、「第 25 回文協芸能祭」「第 34 回文協文化祭」「第2回岡崎文協美術展」を開催した。
2023年度達成結果	文協：「岡崎文化」46号を発行し、「第 26回文協芸能祭」「第 35回文協文化祭」「第3回岡崎文協美術展」を開催した。
2024年度達成結果	文協：岡崎文化協会のホームページを立ち上げ、「県文連西三河部芸能大会」、「岡崎文化協会展」を開催した。
2024年度達成基準	文協：岡崎文化協会のホームページを立ち上げ、「県文連西三河部芸能大会」、「岡崎文化協会展」を開催する。
2025年度達成基準	文協：岡崎文化協会のホームページの管理運営と閲覧数増加に努め、「文化協会文化祭」「文化協会美術展」を開催する。
指標分析	文協：「岡崎文化」に代わる広報手段として岡崎文化協会のホームページを立ち上げ、「第 26 回文協芸能祭」「第35 回文協文化祭」「第3回岡崎文協美術展」と全ての事業を行い、市民文化の向上に努めた。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	1980000	1980000	1126000
	人員（単位：人）	2.2	2.32	2.43

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	文化活動支援
担当所属	社会文化部文化振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	3	1	4	2	3	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	2	3	4	3	3	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	3	4	3	1	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	シビックセンター管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	地方自治法、岡崎市シビックセンター条例		
事業期間	-　～　-	運営形態	指定管理者
担当所属	社会文化部文化振興課		

事業概要

事業概要
シビックセンターは、コンサートホールやリハーサル室のほか、岡崎支所、南部市民センター、図書館、レストラン等を設置している複合施設である。 指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを活かした管理運営を行っている。コンサートホールでは、市民に一流の音楽芸術の鑑賞の場を提供するほか、地元音楽家の支援・育成等を行っている。交流広場では、地元と連携し、にぎわいの創出によるまちづくり支援を行っている。 なお、業務水準については、市による指定管理者のモニタリング及び第三者による業務履行状況の監視・検証等を行い、市民サービスに努めている。【施設概要：コンサートホール　固定席 421 席（身障者席4席）、リハーサル室　2室、集会室　1室、交流広場　800 ㎡、このほか、岡崎支所、南部市民センター、図書館、レストラン等】【根拠法令：岡崎市シビックセンター条例】

対象
市民・利用者

手段
　指定管理者による管理運営

意図・成果
音楽に気軽に触れられる場や発表等の活動の場を市民に提供し、芸術文化の振興を図っている。また、指定管理者による管理運営により、民間事業者のノウハウを活かした安全・安心・快適な施設環境の提供と公平・公正・親切なサービスを提供している。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	ホール利用率　単位：%	85.6	88.7	88.3	75	大規模改修工事中のため稼働なし
	シビックセンター利用者アンケートによる満足度　単位：%	93.1	95.6	85	85	90

定性指標		
	2022年度達成結果	数多くの研修を実施し、職員のレベル向上を図ったことにより、スタッフに対する満足度、施設に対する満足度ともに高水準を維持した。
	2023年度達成結果	接遇や安全管理など、職員レベルの向上を目的とした研修を、習熟度を上げるため繰り返し実施し、利用者のサービス向上、満足度の向上を図った。
	2024年度達成結果	集合研修のみならず個別の施設視察の他、オンラインを活用した研修やｅラーニングも積極的に取り入れ、施設管理者としての専門性を大いに高めることができた。
	2024年度達成基準	接遇や安全管理など、職員レベルの向上を目的とした研修を、習熟度を上げるため繰り返し実施し、利用者のサービス向上、満足度の向上を図る。
	2025年度達成基準	接遇や安全管理など、職員レベルの向上を目的とした研修を、習熟度を上げるため繰り返し実施し、利用者のサービス向上、満足度の向上を図る。
指標分析	ホールの利用率は、目標の　75%に対し、88.3%の実績となり目標を達成し、オンライン研修等も取り入れ職員レベル向上の研修を図ることで利用者満足度も高く（満足度95%）維持され、施設の運営及びホール事業の企画を適切に行っている。	

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	289142967	305829320	259075322
	人員（単位：人）	0.66	0.97	0.59

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	シビックセンター管理運営
担当所属	社会文化部文化振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	2	3	2	3	2
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	2	2	3	4	1	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	3	3	3	2	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	せきれいホール管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	地方自治法、岡崎市せきれいホール条例		
事業期間	-　～　-	運営形態	指定管理者
担当所属	社会文化部文化振興課		

事業概要
事業概要 せきれいホールは、ホール、集会室を有する施設で、市民の音楽、演劇など文化活動の拠点となっている。演劇や音楽などの利用が約5割を超え、多目的ホールと施設規模の特性を活かした、市民の文化活動発表の場を提供をしている。 指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを活かした管理運営を行っている。 市による指定管理者のモニタリングの他、有識者による外部モニタリングを行い、指定管理者の業務履行状況、市のモニタリング内容の検証・監視を第三者の視点で行っている。【施設概要：ホール　客席数 503 席（うち車いす席3席）、集会室　5室】【根拠法令：岡崎市せきれいホール条例】 対象 市民・利用者 手段 　指定管理者による管理運営 意図・成果 　市民に集会や音楽、演芸など文化活動の場を提供し、芸術文化の振興を図る。　また、指定管理者による管理運営により、民間事業者が持つノウハウを活かした安全・安心・快適な施設環境の提供及び公平・公正・親切なサービスを提供している。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	ホール利用率　単位：%	59	58	61	64	55
	せきれいホール年間利用者数　単位：人	53350	63270	65000	65000	66000
定性指標	2022年度達成結果	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図ることができた。				
	2023年度達成結果	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図った。				
	2024年度達成結果	職員間で接客対応や危機管理対応などの意識を持つことができた。また、計画以外、計画数以上の研修も積極的に実施することで、より理解を深め職員の意識、技術向上に繋げることができた。				
	2024年度達成基準	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図る。				
	2025年度達成基準	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図る。				
指標分析	岡崎市内の小、中、高等学校への広報活動、飲食手配、新規貸出備品などワンストップサービスの更新をするなどの各種取り組みのほか、親子向けのイベントを新たに実施するなど、利用者の増加に向けた取り組みを実施したが、 ホール利用率、年間利用者数は目標値と昨年度の実績を下回る結果となった。職員の意識・技術を上げるため計画数以上の研修を積極的に実施することで、利用者満足度の向上にも繋がった。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	58776672	58619109	58387869
	人員（単位：人）	0.21	0.27	0.33

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	せきれいホール管理運営
担当所属	社会文化部文化振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	2	3	2	3	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	2	2	3	3	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	3	4	3	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	岡崎城管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	地方自治法、都市公園法、岡崎市都市公園条例		
事業期間	1959　～　-	運営形態	指定管理者
担当所属	社会文化部文化振興課		

事業概要

事業概要
岡崎城は、岡崎公園内に立地する本市の観光拠点の中心であり、旧城内で誕生した徳川家康を核に本市の歴史文化を知るきっかけとなる施設であり、市内外へPRし、文化都市のイメージを高めている。 指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを活かした管理運営を行っている。 業務水準については、市による指定管理者のモニタリング及び第三者による業務履行状況の監視・検証等を行い、市民サービスに努めている。【施設概要：展示室、展望台】【根拠法令：岡崎市都市公園条例】

対象
市民、市外の観光客等

手段
・岡崎城の歴史及び江戸時代の岡崎を中心に、本市の歴史文化を展示紹介する。　　・指定管理者による管理運営

意図・成果
・岡崎の象徴である岡崎城とその歴史を周知することで、岡崎の歴史文化に対する市民・観光客の理解と関心を高める。　　・指定管理者による管理運営により、民間事業者のノウハウを活かした、安全・安心・快適な施設環境の提供と公平・公正・親切なサービスを提供する。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	岡崎城年間入場者数　単位：人	185105	448241	214851	260000	190000
	-　単位：-					

定性指標		
	2022年度達成結果	利用者の要望に合わせた参加型イベントとして、清海堀を探索するツアーの開催や浮世絵摺り、岡崎城漫画パネルの設置などを実施した。
	2023年度達成結果	利用者の要望に合わせた参加型イベントとして、清海堀を探索するツアーの開催や浮世絵摺り、岡崎城漫画パネルの設置などを実施した。
	2024年度達成結果	利用者の要望に合わせた参加型イベントとして、清海堀を探索するツアーの開催や浮世絵摺り、岡崎城漫画パネルの設置、伝統産業の小物製作体験などを実施した。
	2024年度達成基準	利用者の要望に合わせ、岡崎城で利用者参加型イベントを実施する。
	2025年度達成基準	利用者の要望に合わせ、岡崎城で利用者参加型イベントを実施する。
指標分析	岡崎城への入場者数は施設の利用を表す直接的かつ明確な数値であり、令和5年度のリニューアルや大河ドラマ放映後の効果により多くの集客数を見込んでいたが、入場者数目標を上回ることができなかった。利用者参加型イベントの実施により来館者の満足度や展示への理解に繋がった。	

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	241016267	21859782	10063896
	人員（単位：人）	0.91	0.47	0.47

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	岡崎城管理運営
担当所属	社会文化部文化振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	2	3	2	4	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	1	2	4	4	1	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	3	3	3	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	家康館管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	地方自治法、都市公園法、岡崎市都市公園条例		
事業期間	1982　～　-	運営形態	指定管理者
担当所属	社会文化部文化振興課		

事業概要

事業概要
三河武士のやかた家康館は、岡崎公園に立地し、岡崎城と共に本市の文化的資源を活かした観光拠点の中心となっている。岡崎城内にて誕生した郷土の英傑・徳川家康と、三河武士たちを輩出した歴史的風土と文化を内外にPRし、文化都市のイメージを高めている。 指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを活かした管理運営を行っている。 業務水準については、市による指定管理者のモニタリング及び第三者による業務履行状況の監視・検証等を行い、市民サービスに努めている。【施設概要：展示室、体験コーナー、収蔵庫】【根拠法令：岡崎市都市公園条例】

対象
市民、市外の観光客等

手段
・徳川家康や三河武士を輩出した歴史風土、人物像及び歴史資料を展示紹介する。　　・指定管理者による管理運営

意図・成果
・徳川家康と三河武士をはじめとした文化的資源を活かし、市民・観光客に対し情報を発信することで、本市の歴史文化に対する理解と関心を高める。・指定管理者による管理運営により、民間事業者のノウハウを活かした安全・安心・快適な施設環境の提供と公平・公正・親切なサービスを提供する。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	家康館年間入場者数（全体）　単位：人	39476	5671	97994	160000	100000
	-　単位：-					

定性指標		
	2022年度達成結果	企画展「伝説の神獣　龍」での学芸員による企画展講座、「美術館できもだめし？ちょっとコワイ美術展　in　岡崎」において企画協力者による解説や、オリジナル怪談の上演、近隣博物館等とのコラボ等の催事を開催した。
	2023年度達成結果	令和6年1月まで大河ドラマ館としての営業を経て3月まで展示改装のため休館していたことにより指定管理者による企画展は開催していない。ドラマ館営業期間中に「学芸員が語る岡崎での家康公の歴史」を開催し小中学生を対象にした解説を行った。
	2024年度達成結果	企画展に合わせてギャラリートークや寄席、刀剣鑑賞会など様々な種類のイベントを企画し、開催した。
	2024年度達成基準	岡崎の歴史文化に関連し、また、来館者のニーズを捉えた展示を企画し、企画展と連携して展示をより理解し、楽しめるイベントを開催し、入場者の増加を図る。
	2025年度達成基準	岡崎の歴史文化に関連し、また、来館者のニーズを捉えた展示を企画し、企画展と連携して展示をより理解し、楽しめるイベントを開催し、入場者の増加を図る。
指標分析	入場者数は施設利用を表す直接的かつ明確な数値であり、大河ドラマ館としての営業を経て、令和6年3月のリニューアルオープンや大河ドラマ放映後の効果により多くの集客数を見込んでいたが、入場者数目標を上回ることができなかった。企画展合わせた多種のイベント実施により、利用者の展示への興味と理解を深めることに繋がった。	

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	161607642	126287421	47528701
	人員（単位：人）	0.46	0.67	0.46

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	家康館管理運営
担当所属	社会文化部文化振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	2	3	1	4	2
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	1	2	4	3	4	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	3	3	3	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	甲山閣管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	地方自治法、岡崎市甲山閣条例		
事業期間	-　～　-	運営形態	指定管理者
担当所属	社会文化部文化振興課		

事業概要

事業概要
甲山閣は、和室7部屋を有する文化施設で、茶会、邦楽、俳句・短歌等のお稽古事など、市民の和の文化活動の拠点となっている。 指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを活かした管理運営を行っている。 市による指定管理者のモニタリングの他、有識者による外部モニタリングを行い、指定管理者の業務履行状況、市のモニタリング内容の検証・監視を第三者の視点で行っている。【施設概要：和室　7室】【根拠法令：岡崎市甲山閣条例】

対象
市民・利用者

手段
　指定管理者による管理運営

意図・成果
　市民に茶会、邦楽、着付け教室などの和の催しから、ストレッチ教室、ベビーマッサージ教室などの講座まで幅広く文化活動の場を提供し、芸術文化の振興を図る。また、指定管理者による管理運営により、民間事業者が持つノウハウを活かした安全・安心・快適な施設環境の提供及び公平・公正・親切なサービスを提供している。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	稼働率　単位：%	17	16	15	18	17
	甲山閣年間利用者数 単位：人	6623	6496	6900	6900	6400

定性指標	
2022年度達成結果	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図ることができた。
2023年度達成結果	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図った。
2024年度達成結果	職員間で接客対応や危機管理対応などの意識を持つことができた。また、計画以外、計画数以上の研修も積極的に実施することで、より理解を深め職員の意識、技術向上に繋げることができた。
2024年度達成基準	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図る。
2025年度達成基準	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図る。
指標分析	施設案内、飲食手配、新規貸出備品などワンストップサービスの更新をするなどの各種取り組みのほか、小・中学生の親子向けの新規イベントを実施するなど、利用者の増加に向けた取り組みを実施したが、 稼働率、年間利用者数は目標値と昨年度の実績を下回る結果となった。職員の意識・技術を上げるため計画数以上の研修を積極的に実施することで、利用者満足度の向上にも繋がった。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	8012131	8840544	8430454
	人員（単位：人）	0.21	0.27	0.3

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	甲山閣管理運営
担当所属	社会文化部文化振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	2	3	3	3	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	1	2	3	3	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	3	4	3	1	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	市民会館管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	地方自治法、岡崎市市民会館条例		
事業期間	-　～　-	運営形態	指定管理者
担当所属	社会文化部文化振興課		

事業概要

事業概要
市民会館は、ホール、会議室、リハーサル室等を有する文化施設で、市民の発表会、音楽、演劇など文化活動の拠点となっている。 指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを活かした管理運営を行っている。 市による指定管理者のモニタリングの他、有識者による外部モニタリングを行い、指定管理者の業務履行状況、市のモニタリング内容の検証・監視を第三者の視点で行っている。【施設概要：ホール　固定席 1,100 席（うち車いす席8席）、会議室　6室、リハーサル室 5室、甲山会館　定員 300 人（移動観覧席 105 席）】【根拠法令：岡崎市市民会館条例】

対象
市民・利用者

手段
　指定管理者による管理運営

意図・成果
　市民に音楽発表会、演劇鑑賞会、各種集会等、劇場を利用した活動の場を提供し、芸術文化に接する機会を増やすことで、芸術文化の振興を図る。また、指定管理者による管理運営により、民間事業者が持つノウハウを活かした安全・安心・快適な施設環境の提供及び公平・公正・親切なサービスを提供している。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	ホール利用率　単位：%	60	69	73	63	70
	市民会館年間利用者数　単位：人	156683	217675	223000	223000	223000

定性指標	
2022年度達成結果	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図ることができた。
2023年度達成結果	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図った。
2024年度達成結果	職員間で接客対応や危機管理対応などの意識を持つことができた。また、計画以外、計画数以上の研修も積極的に実施することで、より理解を深め職員の意識、技術向上に繋げることができた。
2024年度達成基準	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図る。
2025年度達成基準	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図る。
指標分析	ホール利用率、年間利用者数ともに目標を達成することができており、昨年度の実績も上回る結果となっている。昨年度から実施した「サロンコンサート」や昨年はじめて実施した「岡崎歌舞伎公演」など施設の利用者拡大に向けて努力を行っている。職員の意識・技術を上げるため計画数以上の研修を積極的に実施することで、高い利用者満足度が維持された。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	599510265	159891510	182251037
	人員（単位：人）	0.41	0.57	0.7

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	市民会館管理運営
担当所属	社会文化部文化振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	2	3	2	3	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	2	2	3	4	1	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	3	4	3	2	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	竜美丘会館管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	地方自治法、岡崎市竜美丘会館条例		
事業期間	-　～　-	運営形態	指定管理者
担当所属	社会文化部文化振興課		

事業概要

事業概要
竜美丘会館は、ホール、特別会議室、多目的会議室、和室を有する施設で、市民の文化活動や事業所の事業活動の拠点となっている。ホールは、市内唯一の平土間形式のホールであり、広場的利用や移動席を設置しての利用など、多種多様な使い勝手を有している。指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを活かした管理運営を行っている。市による指定管理者のモニタリング、有識者による外部モニタリング等により、業務水準書に則した検証、監視を行い、業務履行状況の確認を行っている。【施設概要：ホール　定員 1,008 人（1階移動席 820 席、2 階固定席 188 席）、集会室　9 室】【根拠法令：岡崎市竜美丘会館条例】〇竜美丘会館の管理運営　〇根拠法令：岡崎市竜美丘会館条例

対象
市民・利用者

手段
　指定管理者による管理運営

意図・成果
　市民に文化活動の場所を提供し芸術文化の振興に寄与する。また、市内外の事業所の販売活動、商品展示、会議・式典等の場としても提供する。指定管理者による管理運営により、民間事業者のノウハウを活かした安全・安心・快適な施設環境の提供と公平・公正・親切なサービスを提供する。〇管理経費の削減を図る。
　　〇市民サービスの向上を図る。　　〇利用者が安全に文化活動を行う。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	ホール利用率　単位：%	68	77	72	70	70
	集会室稼働率　単位：%	51	52	54	54	54

定性指標		
	2022年度達成結果	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図ることができた。
	2023年度達成結果	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図ることができた。
	2024年度達成結果	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図ることができた。
	2024年度達成基準	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図る。
	2025年度達成基準	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図る。
指標分析	大河ドラマ関連の講演会などの新規利用で多くの利用があった前年度と比較し、ホール利用率は5%下がったが目標値　70%を超え、集会室稼働率は前年度の数値が維持された。職員の意識・技術を上げるため研修を積極的に実施することで、利用者満足度の向上にも繋がった。	

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	124907055	121061022	121969461
	人員（単位：人）	0.66	0.47	0.73

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	竜美丘会館管理運営
担当所属	社会文化部文化振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	2	3	2	4	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	1	2	3	2	3	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	3	4	3	1	

令和 7 年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	まちなか文化芸術活動推進		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化芸術の振興
根拠法令要綱	-		
事業期間	2013　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	社会文化部文化振興課		

事業概要
事業概要 「岡崎アート＆ジャズ 2012」、「あいちトリエンナーレ 2013」、「あいちトリエンナーレ 2016」を岡崎で開催したことを契機に、継続して市民がアートに触れることができるようにアート事業の推進を行う。また、「第 2 次岡崎市文化振興推進計画」重点プラン 4 に沿って、市民と芸術の距離を近くする「コミュニティアート」の取組みを推進させるため、オカザえもんを活用し、誰もが親しみやすいイベントを開催することで、文化芸術に触れる機会を充実させる。 対象 市民及び市外からの来訪者等 手段 「あいちトリエンナーレ」開催後も継続的に、市民等が楽しむことのできるアートイベントを実施する。また、オカザえもんを活用し、気軽に文化芸術に触れることができる機会を提供する。 意図・成果 普段からアートに興味を持っている人だけでなく、あまり関心のない人々に対してもアートを鑑賞する機会や体験する機会の創出を図る。また、文化芸術活動の活性化により地域の魅力の向上を図り、賑わいを創出する。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	新聞、テレビ等掲載数　単位：回	4	29	13	30	5
	-　単位：-					
定性指標	2022年度達成結果	ワークショップや展覧会を実施し、文化芸術に触れる機会を充実させることができた。				
	2023年度達成結果	積極的なメディア活用により、29 件の掲載を獲得し、岡崎の文化芸術の理解と関心を高めることができた。				
	2024年度達成結果	積極的なメディア活用により、13 件の掲載を獲得し、岡崎の文化芸術の理解と関心を高めることができた。				
	2024年度達成基準	メディアを通して周知し、岡崎の文化芸術の理解と関心を高める。				
	2025年度達成基準	メディアを通して周知し、岡崎の文化芸術の理解と関心を高める。				
指標分析	掲載数は目標数値には届かなかったものの、地元新聞、ケーブルテレビ等を通して周知したことにより、岡崎の文化芸術の理解と関心を高めることができた。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	1378410	4503950	8360530
	人員（単位：人）	0.7	1.1	1.34

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	まちなか文化芸術活動推進
担当所属	社会文化部文化振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	3	2	3	3	3	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	1	2	3	3	3	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	3	4	3	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	文化財保存事業補助業務		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化財保存活用地域計画	基礎事業名	文化財の保存管理
根拠法令要綱	文化財保護法、岡崎市文化財保存事業費補助金交付要綱		
事業期間	2024 ～ 2024	運営形態	自治事務（補助等）
担当所属	社会文化部文化振興課		

事業概要

事業概要
文化財である展示資料を良好な状態に保つためには、適切な時期に学術的考証を踏まえた保存修理等を実施する必要がある。その際、所有者等が保存修理費用等の負担に耐えられないことが問題となるため、文化財保護法の規定に基づき、所有者等に対して指定文化財に関する補助金交付（事業費補助）を行う。

対象
指定文化財の所有者

手段
岡崎市文化財保存事業費補助金交付要綱の定めるところにより、指定文化財の保存事業に対し補助金を交付する。

意図・成果
指定文化財の保存、管理、伝承に係る事業に対して補助金を交付することで、指定文化財の保存、伝承及び展示資料としての活用を図る。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	保存事業の完了　単位：%			100		
	単位：					

定性指標	
2022年度達成結果	
2023年度達成結果	
2024年度達成結果	補助金交付申請時の事業目的が達成されていること、また計画・工程どおりに事業が進行、終了したのを確認し、補助金を交付した。
2024年度達成基準	補助金交付申請時の事業目的が達成されていること。また計画・工程どおりに事業が進行、終了したのを確認し、補助金を交付する。
2025年度達成基準	
指標分析	計画どおり事業に着手、進行されていることを確認し、事業終了により目的が達成され、適正に補助金を交付することができた。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）			406000
	人員（単位：人）			0.01

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	文化財保存事業補助業務
担当所属	社会文化部文化振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	3	4	3	3	3	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	3	3	3	3	1	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	3	4	3	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	農業者体育センター管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの参画人口増加
根拠法令要綱	岡崎市農業者体育センター条例、岡崎市農業者体育センター条例施行規則		
事業期間	1987　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	社会文化部スポーツ振興課		

事業概要

事業概要
農業者体育センターの適切な維持管理を行い、市民に安心・気軽に利用できるスポーツ環境を提供する。

対象
施設を利用する市民

手段
施設保守、管理委託料等・清掃業務・警備業務・消防設備保守点検業務・防火対象物点検・自家用電気工作物保守点検業務・管理委託業務・浄化槽保守清掃業務・浄化槽法定検査・公共建築物定期点検

意図・成果
農業者体育センターについて、適切な維持管理を行うことで、市民が安心・気軽に利用できるよう、スポーツ施設の利用促進を図る。岩津地域の社会体育施設として、市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供できている。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	農業者体育センター年間利用者数　単位：人	42351	39708	41734	43000	43000
	-　単位：-					

定性指標	
2022年度達成結果	-
2023年度達成結果	-
2024年度達成結果	
2024年度達成基準	-
2025年度達成基準	
指標分析	年間利用者数の目標は達成できなかったが、利用者が増加傾向にあると考えられる。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	12203098	13918532	14880294
	人員（単位：人）	0.67	1.75	1.88

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	農業者体育センター管理運営
担当所属	社会文化部スポーツ振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	2	1	2	3	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	2	3	2	3	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	3	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	スポーツ競技支援		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの参画人口増加
根拠法令要綱	スポーツ基本法		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）
担当所属	社会文化部スポーツ振興課		

事業概要

事業概要
スポーツ基本法に位置づけられたスポーツ推進委員を支援し、広く市民のニュースポーツの発展・普及を図る。スポーツ推進委員の資質向上を図るため活動を助成する。
ニュースポーツの普及と生涯スポーツの推進を図るため、新たにスポーツフェスティバルを開催するとともに、スポ・レク器具の貸し出しを行う。
岡崎市スポーツ推進計画に基づき、市にゆかりがあり、世界・全国レベルで活躍する選手・チームを発掘し、地域ぐるみで支え応援するため、岡崎アスリート支援事業を継続して実施する。競技者の継続的な意欲向上を図るため、国際大会や全国大会出場者にアスリート支援金を支給する。

対象
スポーツ推進委員、スポーツ競技者、国際大会や全国大会出場者

手段
・スポーツ推進委員への報酬及びユニホームの支給・スポーツ推進委員の資質向上のための研修会場使用料・スポーツ推進委員活動を支援するスポーツ保険の加入・スポーツフェスティバルの開催・岡崎アスリートへの支援の実施・全国スポーツ大会等出場者へアスリート支援金の支給

意図・成果
スポーツ推進委員の活動を支援することにより、市のスポーツ振興が図られる。スポ・レク器具の貸し出しをすることにより、ニュースポーツの普及が図られる。全国スポーツ大会等出場者を激励することにより、競技力の向上が図られる。様々な形でアスリートを支援して地域が支えることで、市民との連携が図られる。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	スポーツ推進委員研修会参加者数　単位：人	255	327	194	300	300
	岡崎アスリートとの連携事業の実施回数　単位：回	-	4	10	10	10

定性指標	
2022年度達成結果	-
2023年度達成結果	-
2024年度達成結果	
2024年度達成基準	-
2025年度達成基準	

指標分析	
	地域でのスポーツ振興を図るためには、各学区のスポーツ推進委員の資質向上が必要であるため、スポーツ推進委員の研修会参加数を指標としており、充実した研修を行った結果、目標を大きく上回る人数を達成出来た。岡崎アスリートの登録者数は一定の人数になったため、R7 年度以降は、連携事業の回数を目標として取り組んでいく。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	15884303	16340293	17079835
	人員（単位：人）	1.35	1.9	2.97

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	スポーツ競技支援
担当所属	社会文化部スポーツ振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	2	4	4	2	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	2	3	3	3	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	3	3	4	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	スポーツ大会運営委託		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの競技力向上
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部委託）
担当所属	社会文化部スポーツ振興課		

事業概要

事業概要
アマチュアスポーツの健全な普及発展を図り、市民の体力向上と増進に努め、明るい市民生活の発展に寄与することを目的とする。市内の 46 のスポーツ競技団体を統括している公益財団法人岡崎市スポーツ協会に、市民スポーツ大会の開催を委託し、市民の健康の保持・増進、体力の向上及び競技力の向上を図る。

対象
市民

手段
円滑な大会運営を図るため、46 のスポーツ協会加盟団体（加盟スポーツ団体含む）を統括している公益財団法人岡崎市スポーツ協会へ、43 の市民スポーツ大会の開催を委託する。射撃、アーチェリー、剣道、サッカー、テニス、ボウリング、ソフトボール、ボクシング、ソフトテニス、卓球、弓道、バドミントン、ハンドボール、グラウンド・ゴルフ、バレーボール、軟式野球、グライダー、ラグビー、馬術、ゲートボール、空手道、相撲、インディアカ、バスケットボール、水泳、なぎなた、陸上、健康ウォーク、少林寺拳法、居合道、オリエンテーリング、合気道、カヌー、柔道、綱引き、スキー、サイクリング、マレットゴルフ、フルコンタクト空手道、スポーツ吹矢、ソフトバレー、ママさんバレーボール、ミニテニス。計 43 大会。

意図・成果
市民に広くスポーツに親しむ機会を身近に提供することで、市民の健康の保持・増進、体力の向上が図られる。競技大会を開催することにより、選手は大会の好成績獲得に向けた日々の練習をすることになり、ひいては技術力及び競技力の向上が図られる。また、各団体や指導者の育成・支援を行うことにより、市民の自発的なスポーツ活動の活性化を図る。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	各大会参加者数　単位：人	8788	9059	9070	9000	9000
	-　単位：-					

定性指標	
2022年度達成結果	-
2023年度達成結果	-
2024年度達成結果	
2024年度達成基準	-
2025年度達成基準	
指標分析	各種目で充実した大会を開催することで目標参加数を確保できた。今後も継続して、各種目の大会を開催する。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	10742482	10809073	10809196
	人員（単位：人）	0.1	0.1	0.1

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	スポーツ大会運営委託
担当所属	社会文化部スポーツ振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	3	2	4	3	4	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	2	3	2	4	3	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	4	4	3	2	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	スポーツ大会開催		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの参画人口増加
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	社会文化部スポーツ振興課		

事業概要
事業概要 市民の健康の保持・増進、体力の向上を図り、スポーツの楽しさを実感してもらうため、各種のスポーツ大会やスポーツイベントを開催するなど多くの市民にスポーツに親しむ機会を提供する。 対象 市民及び市外のスポーツイベント参加者 手段 ・11月のおかざきマラソン、1月の岡崎市民駅伝競走大会を関係機関と連携して実施。 意図・成果 広く市民にスポーツの機会を提供することにより、スポーツを通した市民の健康の保持・増進、体力の向上を図ることができる。スポーツをする楽しみを実感することにより、市民生活にスポーツを定着させる。競技スポーツへの参加により、競技力の向上が図られる。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	駅伝・おかざきマラソン・1日スポーツ参加者数　単位：人	3546	3592	3433	3500	1700
	-　単位：-					
定性指標	2022年度達成結果	-				
	2023年度達成結果	-				
	2024年度達成結果					
	2024年度達成基準	-				
	2025年度達成基準					
指標分析	マラソンでは前年比で参加者数が減少したが、駅伝では前年から参加者数を増加させることが出来た。ただコロナ禍前の参加者数には満たないため、今後継続して参加者数を増やすことに努める。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	15410192	16663190	19216533
	人員（単位：人）	1	1.25	1.2

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	スポーツ大会開催
担当所属	社会文化部スポーツ振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	3	2	4	3	3	2
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	2	3	2	3	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	3	4	4	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	岡崎市スポーツ協会補助		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの参画人口増加
根拠法令要綱	岡崎市体育協会補助金交付要綱		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（補助等）
担当所属	社会文化部スポーツ振興課		

事業概要

事業概要
市民の体力向上、競技力向上を目指し、スポーツ協会加盟 45 団体（加盟スポーツ団体含む）の統括並びにスポーツ少年団の育成のため、公益財団法人岡崎市スポーツ協会の運営事業の補助を行う。

対象
岡崎市スポーツ協会及びスポーツ協会の加盟団体及びスポーツ少年団。

手段
スポーツ協会運営（職員の人件費）補助（補助率：10/10）、スポーツ協会加盟 45 団体（加盟スポーツ団体含む）及びスポーツ少年団への補助金の交付。

意図・成果
市民の生涯スポーツの振興及び競技力の向上を図る。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	スポ協・スポ少会員数　単位：人	15928	15487	14884	15500	15000
	-　単位：-					

定性指標	
2022年度達成結果	-
2023年度達成結果	-
2024年度達成結果	
2024年度達成基準	-
2025年度達成基準	

指標分析	
	少子高齢化の影響があり、少年団への加入人数や競技を主とした競技団体の加入人数は平成 23 年実績（18,938 人）を最高に減少傾向にある。ただ、スポーツをする、指導を受ける環境を確保することで、スポーツの推進と普及に貢献できている。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	68538000	64445000	70175000
	人員（単位：人）	0.15	0.15	0.15

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	岡崎市スポーツ協会補助
担当所属	社会文化部スポーツ振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	3	4	4	4	4	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	2	3	4	4	1	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	3	4	4	2	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	学校体育施設開放		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの参画人口増加
根拠法令要綱	社会教育法、スポーツ基本法等		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）
担当所属	社会文化部スポーツ振興課		

事業概要
事業概要 学校体育施設を学校教育に支障がない範囲でスポーツ活動に開放し、市民が身近に日常生活の中でスポーツ活動に親しむ機会を提供する。 対象 各学区住民学校体育施設開放運営委員会学校体育施設開放利用団体 手段 学校体育施設の市民へのスポーツ開放岡崎市立の全小中学校 小学校 47 校 中学校 20 校岡崎市内の県立学校　県立学校 6 校 意図・成果 市内全学区にある学校体育施設は市民に身近で、市民の健康の保持増進と体力の向上など、日常生活の中でスポーツ活動に親しむ機会として有効である。また、地域スポーツクラブの発展及び育成を図る活動拠点として最も適している。スポーツ開放は昭和 50 年代から行われ、学区住民が身近にスポーツ活動に親しむ機会として既に確立されている。総合型地域スポーツクラブとは形態が異なるが、学区を一つのクラブと考えれば、地域に根付いた様々なスポーツを扱うクラブとみなすことができ、地域スポーツクラブの発展及び育成を図る礎となっている。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	学校体育施設開放利用者数　単位：人	449592	496676	505096	510000	510000
	-　単位：-					
定性指標	2022年度達成結果	-				
	2023年度達成結果	-				
	2024年度達成結果					
	2024年度達成基準	-				
	2025年度達成基準					
指標分析	目標数には届かなかったが、利用者数は増加傾向にあり、利用者ニーズも高いため、引き続き運営委員会を支援していく。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	14412340	14647122	14908235
	人員（単位：人）	0.75	0.9	0.3

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	学校体育施設開放
担当所属	社会文化部スポーツ振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	3	1	2	2	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	2	2	4	3	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	3	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	高校野球大会誘致		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの競技力向上
根拠法令要綱	-		
事業期間	2011　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）
担当所属	社会文化部スポーツ振興課		

事業概要

事業概要
愛知県高校の野球主要大会を誘致することにより、広く市民に観戦機会を提供し、より一層のスポーツ振興を図る。また、市外からも多くの観戦者を迎えるため、全国高校野球選手権県大会の観戦者に無料直行バスの運行及び愛知県高校野球連盟へ大会負担金を支出する。

対象
高校野球大会観戦者

手段
高校野球大会開催経費の一部を負担し、誘致活動する。名鉄東岡崎駅と中央総合公園の間で無料直行バスを運行し、観戦者の利便性向上を図り、観戦者増加に努める。また、曜日や対戦カードにより観戦者が増加した場合、バスで来場してもらうことにより、車での来場者が多数になることを抑え、園内や周辺道路の渋滞対策としても効果がある。

意図・成果
市内外から多くの観戦者を迎え、岡崎レッドダイヤモンドスタジアムのPRを図るとともに、ハイレベルな試合観戦の機会を提供し、小中高校で野球に取り組む選手の技術向上を図る。また、名鉄東岡崎駅と中央総合公園の間で無料直行バスを運行し、観戦者の利便性向上を図り、観戦者の増加に努めるとともに、渋滞対策としての効果を目指す。県内他市の球場は、駐車場は少ないが、公共交通機関からのアクセスは比較的良好な球場がほとんどである。岡崎レッドダイヤモンドスタジアムは主要駅からも遠く、在来の路線バスはあるが、本数も少なく公共交通機関が良好とは言えない。この弱点を補う手段として無料直行バスを運行することにより、他市野球場での公共交通機関の利便性と本市野球場の利便性のバランスを保つことができ、本市への誘致が可能となる。スポーツの中でも高校野球は人気のコンテンツであり、名古屋市という大規模都市がありながら、選手権大会の県予選の決勝、準決勝の開催会場となることで、観戦スポーツの推進ができ、また、市外への大きなPRを図ることができる。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	1 日平均観戦者数 単位：人	1714	2331	2909	2250	2500
	観戦者数　単位：人	25720	27977	27000	27000	30000

定性指標	
2022年度達成結果	-
2023年度達成結果	-
2024年度達成結果	
2024年度達成基準	-
2025年度達成基準	
指標分析	必要な支援の結果、目標を大きく上回る観戦者数を確保することができた。今後も他会場などの状況を理解したうえで必要な支援を行う。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	5573619	4644211	4225491
	人員（単位：人）	0.1	0.1	0.1

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	高校野球大会誘致
担当所属	社会文化部スポーツ振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	3	3	4	4	2	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	1	2	3	3	4	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	地域市民スポーツ振興費補助		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの参画人口増加
根拠法令要綱	岡崎市地域市民スポーツ振興費補助金交付要綱		
事業期間	-　～　2021	運営形態	自治事務（補助等）
担当所属	社会文化部スポーツ振興課		

事業概要

事業概要
地域市民スポーツの振興に資するため、各学区社会教育委員会が行う地域スポーツ振興事業に対し補助金を交付し、各学区の社会体育、スポーツ活動の支援を行う。

対象
岡崎市学区社会教育委員会連絡協議会を通して、市内 47 学区社会教育委員会へ交付。学区社会教育委員会は、この補助金を活動資金として学区の社会体育振興を図る。対象経費：岡崎市学区社会教育委員長連絡協議会が行う地域スポーツ振興事業補助率：（小学校区内の住民数×4.5 円）+90,000 円

手段
学区社会教育委員会が行う、スポーツ振興とふれあいを深めるための行事に要する経費の一部を補助する。学区運動会、ソフトボール大会、ソフトバレーボール大会、子ども会球技大会、グラウンド・ゴルフ大会、ファミリー体育祭、バレーボール大会、バドミントン大会、ふれあいウォーキング大会等。

意図・成果
学区社会教育委員会の活動により、各学区民のスポーツ活動の振興を通じて地域相互の交流を深め、ふれあいの輪を広げていく。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	各学区の事業参加者数　単位：人	31575	33185	35257	30000	35000
	-　単位：-					

定性指標	
2022年度達成結果	-
2023年度達成結果	-
2024年度達成結果	
2024年度達成基準	-
2025年度達成基準	
指標分析	各学区で多様なスポーツ行事が充実して開催されその支援を行うことが出来た。引き続き事業が行えるように支援していく。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	5328980	5320000	5716000
	人員（単位：人）	0.05	0.05	0.05

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	地域市民スポーツ振興費補助
担当所属	社会文化部スポーツ振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	4	2	2	3	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	3	3	4	4	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	3	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	スポーツ施設維持管理		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの参画人口増加
根拠法令要綱	スポーツ基本法、岡崎市スポーツ施設条例、岡崎市スポーツ施設条例施行規則		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	社会文化部スポーツ振興課		

事業概要

事業概要
運動広場を始めとする、主に屋外スポーツ施設の適切な維持管理を行い、市民に安心・気軽に利用できるスポーツ環境を提供する。

対象
施設を利用する市民

手段
①スポーツ施設や設備の定期点検及び保守業務②スポーツ施設の清掃業務③スポーツ施設の除草及び整地④スポーツ施設や設備の修繕⑤河川敷スポーツ施設設備移設　等

意図・成果
スポーツ施設の適切な維持管理を行うことで、市民が安心・気軽に利用できるよう、スポーツ施設の利用促進を図る。各地域で市民が安心・気軽に利用できるスポーツ環境を提供できている。施設の種類①運動場（ 南公園　境公園　明神橋公園　日名公園　六名公園　梅園公園　美合公園　みどり公園　矢作公園　井田公園　三百田公園　堤下公園　東部　美矢井橋河川緑地　渡橋河川緑地　日名橋河川緑地　額田）②テニスコート（梅園公園　緑丘　乙川　牧平　中伊西）　③学区運動広場（岩津　大幡　天神橋　舞木　奥殿　美合　藤川　六南あおみ野　常磐南）④その他施設（カヌー練習場　東公園OLコース　藤川射撃場　羽根乗馬場）

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	スポーツ施設利用者数　単位：人	796764	791604	853222	800000	860000
	-　単位：-					

定性指標	
2022年度達成結果	-
2023年度達成結果	-
2024年度達成結果	
2024年度達成基準	-
2025年度達成基準	
指標分析	熱中症による影響があるものの、スポーツ利用者数は増加傾向にある。老朽化施設が多いなか、利用者ニーズにあった管理体制を引き続き継続していく。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	44681953	159967715	134843997
	人員（単位：人）	1.7	1.3	1.05

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	スポーツ施設維持管理
担当所属	社会文化部スポーツ振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	2	2	2	1	2
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	3	4	1	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	3	3	3	1	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	岡崎市体育館管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの参画人口増加
根拠法令要綱	スポーツ基本法、岡崎市スポーツ施設条例、岡崎市スポーツ施設条例施行規則		
事業期間	1976　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	社会文化部スポーツ振興課		

事業概要

事業概要
岡崎市スポーツ施設条例及び岡崎市スポーツ施設条例施行規則に基づき、市民に日常生活の中でスポーツ活動に親しむ機会を提供し、健康の保持増進と体力の向上、スポーツ施設の充実を図るために、スポーツができる平均的水準を保てるように、岡崎市体育館を設置し、維持管理をしていく。

対象
施設利用者・市民

手段
施設保守及び競技場、武道場、トレーニング室等の運営

意図・成果
施設及び設備の年間保守点検により効果的・効率的に修繕・改修し、利用者の安心・安全な利用環境を確保し、快適に利用できるスポーツ施設を提供する。市民のスポーツ振興を図る施設の維持管理をする。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	岡崎市体育館利用者数　単位：人	137977	138024	137938	140000	139000
	予約率　単位：%	84.6	82.7	85	85	89

定性指標		
	2022年度達成結果	-
	2023年度達成結果	-
	2024年度達成結果	
	2024年度達成基準	-
	2025年度達成基準	
指標分析	年間利用者数は微減であるものの、予約率は目標に到達できた。コロナ禍で減少した大会の開催が戻りつつあるものと考えられる。引き続き、安全で安心して使用してもらえるように管理・運営を行っていく。	

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	56200477	72639895	58520156
	人員（単位：人）	1.25	1.45	1.75

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	岡崎市体育館管理運営
担当所属	社会文化部スポーツ振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	3	2	4	2	2	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	3	3	2	3	3	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	3	2	2	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	地区体育館管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの参画人口増加
根拠法令要綱	スポーツ基本法、岡崎市スポーツ施設条例、岡崎市スポーツ施設条例施行規則		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	社会文化部スポーツ振興課		

事業概要

事業概要
岡崎市スポーツ施設条例及び岡崎市スポーツ施設条例施行規則に基づき、市民に日常生活の中でスポーツ活動に親しむ機会を提供し、健康の保持増進と体力の向上、スポーツ施設の充実を図るために、スポーツができる平均的水準を保てるように、地区体育館（矢作体育館・井田体育館・六ツ美体育館）を設置し、維持管理をしていく。

対象
施設利用者・市民

手段
施設保守・管理委託料等

意図・成果
地区体育館（矢作体育館・井田体育館・六ツ美体育館）の効率的・効果的管理運営により利用者の安全な利用環境を確保し、安心して快適に利用できるスポーツ施設として、市の西部・南部・北部に地区体育館を提供する。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	地区体育館利用者数 単位：人	50635	54874	55160	55000	56000
	予約率　単位：%	80.8	87.4	88	88	88
定性指標	2022年度達成結果	-				
	2023年度達成結果	-				
	2024年度達成結果					
	2024年度達成基準	-				
	2025年度達成基準					
指標分析	利用者数は増加傾向にある。利用者ニーズも高い施設が多いため、引き続き維持管理体制を継続していく。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	30985883	28655376	36042226
	人員（単位：人）	1.4	1.1	1.75

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	地区体育館管理運営
担当所属	社会文化部スポーツ振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	2	1	2	3	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	3	3	2	3	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	3	3	

令和 7 年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	龍北総合運動場整備		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの参画人口増加
根拠法令要綱	-		
事業期間	2020 ～ -	運営形態	自治事務（全部委託）
担当所属	社会文化部スポーツ振興課		

事業概要

事業概要
PFI事業を活用し、市民の誰もが、それぞれのライフスタイルやライフステージに合わせて、継続的にスポーツに親しめるよう努める。施設の概要・日本陸上競技連盟公認第3種陸上競技場（サッカーJFL公式戦開催可能）・メインスタンド（3階建て、約 1,000 人収容可能）・野球場（硬式野球可、少年野球・ソフトボールは2面可能）・テニスコート8面（人工芝、2階建てクラブハウス）・サッカー・ラグビー場1面（人工芝）・アーチェリー場・多目的運動場・ジョギング・ウォーキングコース（2コース）

対象
市民

手段
平成 27 年度 県営岡崎総合運動場の土地・建物調査（測量、分筆案作成、老朽度調査）　ニーズ調査・配置計画（ニーズ把握、市内スポーツ施設の配置の分析、利用状況調査、運動場内の配置計画）平成 28 年度（仮）龍北総合運動場基本計画の策定平成 29 年度 PFI事業者の選定平成 30 年度～（仮）龍北総合運動場の整備平成 31 年度 供用開始に先立つ利用調整令和2年度 供用開始

意図・成果
市民の誰もが、それぞれのライフスタイルやライフステージに合わせて、継続的にスポーツに親しめるよう総合運動場を整備する。また、総合運動場の活用を通じて市民一人一人の健やかな体力づくり、精神的な充実、地域コミュニティの活性化を目指す。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	スポーツ施設利用者数　単位：人	154741	200926	211865	210000	220000
	-　単位：-					

定性指標	
2022年度達成結果	-
2023年度達成結果	-
2024年度達成結果	
2024年度達成基準	-
2025年度達成基準	
指標分析	各種教室や大会などで多くの方に利用していただくことができ、利用者も増加傾向にある。引き続き満足度が高い施設にしていく。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	171301818	175564986	178219446
	人員（単位：人）	0.45	0.85	0.65

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	龍北総合運動場整備
担当所属	社会文化部スポーツ振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	2	2	4	3	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	1	4	3	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	国際大会等誘致		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツによる岡崎の活性化
根拠法令要綱	-		
事業期間	2018　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）
担当所属	社会文化部スポーツ振興課		

事業概要

事業概要
2020年～2025年の世界ラリー選手権（WRC）、2026年のアジア競技大会、プロスポーツリーグ等の大規模スポーツ大会の誘致及びキャンプ地等の誘致を行い、スポーツツーリズムを推進する。

対象
大規模大会等を観戦する市内外及び海外からの観戦客及び関係者・本市でキャンプ等を行うチームの選手・コーチ及び役員

手段
大規模大会等を観戦する市内外及び海外からの観戦客に対し、本市のPRを行う。本市でキャンプ等を行うチーム関係者のサポートを行う。

意図・成果
WRCをはじめ大規模大会を観戦するため、海外、県外からの来訪者が予想されるため、地域の活性化を図ることができる。また、キャンプ地等の誘致を行うことにより、ナショナルチームや強豪チーム等のトップレベルの練習を観ることができる。トップレベルのスポーツの試合や練習を観ることにより、感動を与え、スポーツの裾野の拡大やスポーツの意欲の高揚を図ることができる。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	WRC　有料客数　単位：人	6461	9235	6733	9500	10000
	誘客スポーツイベント開催件数　単位：-		8	5	5	5

定性指標	
2022年度達成結果	
2023年度達成結果	-
2024年度達成結果	
2024年度達成基準	-
2025年度達成基準	
指標分析	全国より、競技以外の沿道も含め、約 10,000 人の有料観客が訪れ、まち全体の盛り上がりを醸成することができた。ジェイテクトSTINGS 愛知のホームタウンとなり、大規模スポーツ大会の開催数が大幅に増やすことができた。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	62673042	152088152	133562768
	人員（単位：人）	2.6	2.6	4.85

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	国際大会等誘致
担当所属	社会文化部スポーツ振興課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	2	4	2	3	2
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	2	3	3	3	3	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	3	4	4	2	

令和 7 年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	外国人相談		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	多文化共生推進基本計画	基礎事業名	多文化共生の推進
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）
担当所属	社会文化部多様性社会推進課		

事業概要
事業概要 岡崎市には約 70 か国 13,000 人の外国人市民が居住している。その外国人市民が地域の一員として安心して暮らすことができる環境を築くため、多言語（ポルトガル語、英語、中国語、フィリピノ語、スペイン語、ベトナム語）に対応した相談窓口を設置するとともに、市が作成する行政文書の翻訳をする。 対象 市内に居住する外国人市民 手段 相談 意図・成果 通訳を配置していない市役所内の各部署で手続きが円滑に処理され、相談者の不安が解消される。外国人市民にとって必要となる行政情報が多言語で提供される。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	-　単位：-			-		-
	-　単位：-					-
定性指標	2022年度達成結果	外国人相談および翻訳に適切に対応することができた。				
	2023年度達成結果	外国人相談および翻訳に適切に対応することができた。				
	2024年度達成結果	外国人相談および翻訳に適切に対応することができた。				
	2024年度達成基準	外国人相談および翻訳に適切に対応する。				
	2025年度達成基準	外国人相談および翻訳に適切に対応する。				
指標分析	通訳員の勤務管理、タブレット端末貸出管理を適切に行い、円滑な相談対応を行うことができた。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	42363387	43099850	52299232
	人員（単位：人）	0.44	0.4	0.5

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	外国人相談
担当所属	社会文化部多様性社会推進課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	4	4	4	4	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	4	4	4	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	男女共同参画推進		
分野別指針	多様な主体が協働・活躍できる社会づくり		
個別計画等	男女共同参画基本計画	基礎事業名	男女共同参画社会の推進
根拠法令要綱	男女共同参画社会基本法、岡崎市男女共同参画の推進及び多様な性を尊重する社会を実現するための条例		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	社会文化部多様性社会推進課		

事業概要

事業概要
男女共同参画社会基本法に定めた男女共同参画社会の実現のため、第5次岡崎市男女共同参画基本計画に掲げられているすべての取組が実施されるよう、審議会や庁内推進会議等との連携のもとに各種啓発事業等を実施し男女共同参画を進める。
【岡崎市男女共同参画基本計画（ウィズプランおかざき）】
第1次：平成 10～14 年度（5年）
第2次：平成 15～22 年度（8年）
第3次：平成 23～27 年度（5年）
第4次：平成 28～令和2年度（5年）
第5次：令和3～7年度（5年）

対象
市、市民、教育に携わる者、市民団体、事業者、職員

手段
男女共同参画意識を向上させるための各種啓発事業・職員研修の実施、パンフレット等啓発資料の作成・配布、参画意識を高めるための全国会議への職員派遣、市町村で登用できる女性の人材育成を目的としたセミナーや研修会への市民の派遣、男性の家事参画を促す講座の実施、多様な性の尊重に関する講座等の開催、当該講座等における参加者の託児サービスの提供、年次報告書の発行、庁内連携を進める推進会議の開催

意図・成果
固定的な性別役割分担に対する意識が改善され、男性の家事参画や女性の社会進出への理解が進み、男女共同参画社会の実現が推進される。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	男女共同参画講座開催数　単位：回	8	10	8	6	6
	講座受講後のアンケートで「男女共同参画について理解が深まった」と回答した人の割合　単位：%	89.4	60.1	75	75	75
定性指標	2022年度達成結果	-				
	2023年度達成結果					
	2024年度達成結果					
	2024年度達成基準					
	2025年度達成基準					
指標分析	講座等の開催により、受講者の男女共同参画についての理解促進に繋がったため、アンケート結果で目標値を上回った。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	1225818	1213536	1522223
	人員（単位：人）	1.82	1.98	1.72

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	男女共同参画推進
担当所属	社会文化部多様性社会推進課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	2	4	4	4	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	4	4	4	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	男女共同参画団体活動支援		
分野別指針	多様な主体が協働・活躍できる社会づくり		
個別計画等	男女共同参画基本計画	基礎事業名	男女共同参画社会の推進
根拠法令要綱	男女共同参画社会基本法、岡崎市男女共同参画の推進及び多様な性を尊重する社会を実現するための条例、岡崎市男女共同参画団体活動事業費補助金交付要綱		
事業期間	1996　～　-	運営形態	自治事務（補助等）
担当所属	社会文化部多様性社会推進課		

事業概要

事業概要
第5次岡崎市男女共同参画基本計画に基づき、男女共同参画及び多様な性の尊重を推進する市民活動団体（学区女性団体を含む）を支援する。内容は、市内で実施する男女共同参画社会及び多様な性を尊重する社会の啓発を目的とした講演会・講座等や男女共同参画社会及び多様な性を尊重する社会の形成に関係する研修等への参加等で、実施実績に応じ岡崎市男女共同参画団体活動事業費補助金交付要綱に基づく補助金を交付し、地域課題に自主的に取り組む団体を支援する。

対象

男女共同参画及び多様な性の尊重を推進する市民活動団体

手段
活動事業費補助金の交付
補助率：補助対象経費の 50%以内
限度額：1団体につき 30,000 円

意図・成果
誰もが慣習やしきたりにとらわれず、その個性と能力を十分に発揮して、自らの生活を充実させ、地域課題解決の場に参画していること。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	男女共同参画団体等活動事業費補助金申請団体数　単位：団体	6	4	5	10	-
	-　単位：-					

定性指標	
2022年度達成結果	-
2023年度達成結果	
2024年度達成結果	
2024年度達成基準	
2025年度達成基準	
指標分析	様々な社会情勢の変化により地域における女性団体の活動そのものに変化がみられることから、活動が減少し目標を下回った。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	96000	69000	95000
	人員（単位：人）	0.2	0.25	0.2

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	男女共同参画団体活動支援
担当所属	社会文化部多様性社会推進課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	4	4	4	3	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	3	4	4	4	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	多文化共生推進		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	多文化共生推進基本計画	基礎事業名	多文化共生の推進
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	社会文化部多様性社会推進課		

事業概要

事業概要
本市では、平成 2 年以降、工場などの労働力として来日した日系ブラジル人を中心に急速に外国人人口が増加し、言葉の壁や文化、価値観、生活習慣の違いから、地域で様々な問題が発生するようになった。平成 20 年のリーマンショック以降外国人市民数は減少していたが、平成 27 年度から再び増加に転じ、現在約 13,000 人の外国人が居住している。また、市内に居住する期間の長期化の傾向がみられ、生活者として様々な課題に直面する外国人市民が増えている。本業務活動では、外国人市民と日本人市民の円滑な共生を推進し、外国人市民が地域の一員として安心して暮らし、滞在することができる環境を築くための取り組みを実施する。

対象
外国人市民及び外国人市民が生活する地域の日本人市民

手段
日本で生活する上で知っておくべき日本の制度などを学ぶ生活ルール講座を開催する。外国人集住地区で、通訳として地域の総代の業務を補佐する外国人市民をコミュニティ通訳員として配置する。町内会・自治会が作成する町内規約や回覧などの文書を翻訳する。災害時に災害時多言語支援センターを設置する。本市の多文化共生・国際交流の推進について審議・検討する国際化推進委員会を開催する。多文化共生推進基本計画を推進する。多言語表記等で外国人市民に対する利便性の向上を図る。子ども向け日本語教室を開催し、外国人児童生徒の支援をする。多文化共生活動支援を行うボランティアを養成する。

意図・成果
言語や生活習慣の違いから生じる外国人市民とのトラブルの減少。地域の活動に参加する外国人市民の増加。外国人市民の防災意識の向上と災害時における正確な情報伝達。外国人児童生徒の就学・進学・日本語能力に対する不安の緩和。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	多文化共生講座開催数　単位：回	17	19	18	18	15
	多文化共生ボランティア登録者数　単位：人	89	78	80	80	60

定性指標	
2022年度達成結果	-
2023年度達成結果	実施予定講座は、教育相談会を除いて概ね実施できた。
2024年度達成結果	実施予定講座は、やさしい日本語講座や外国人児童生徒のための教育相談会を含め実施てきた。
2024年度達成基準	昨年度実施しなかった教育相談会を実施する。
2025年度達成基準	実施方法を別事業と同時開催する等、事務業務の削減をし、内容の充実を図る。
指標分析	実施回数は予定通り実施できた。ボランティア登録数は、新規募集を狙う養成講座とスキルアップ講座の開催により、実際に活動可能なボランティア登録者の更新を行ったため、目標を下回った。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	762705	777661	601016
	人員（単位：人）	1.11	0.7	1

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	多文化共生推進
担当所属	社会文化部多様性社会推進課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	4	4	3	4	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	4	4	4	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	姉妹友好都市交流		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	多文化共生推進基本計画	基礎事業名	多文化共生の推進
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	社会文化部多様性社会推進課		

事業概要

事業概要
岡崎市では、現在、海外3都市と姉妹友好提携をしている。周年をはじめとして訪問団の相互派遣が行われており、また国際交流協会を中心にウッデバラ市高校生訪問団の受入れ、高校生のウッデバラ市及び呼和浩特市派遣が行われている。本業務活動は、訪問団の受入・派遣等の交流を行う。
＜姉妹友好都市＞　　＜提携年＞　　＜直前の周年＞　　＜今後の周年＞
スウェーデン王国 ウッデバラ市　　1968 年（昭和 43 年） 2018 年（平成 30 年）50 周年 2028 年（令和 10 年）60 周年
アメリカ合衆国 ニューポートビーチ市　1984 年（昭和 59 年） 2014 年（平成 26 年）30 周年 2024 年（令和6年）40 周年
中華人民共和国 呼和浩特（フフホト）市　1987 年（昭和 62 年） 2017 年（平成 29 年）30 周年 2027 年（令和9年）40 周年

対象
姉妹友好都市交流事業の参加者

手段
・姉妹友好都市との連絡調整。

意図・成果
姉妹友好都市との信頼関係維持により、青少年等の相互訪問交流など関係事業を継続する環境を整え、市民の国際理解の増進を図る。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	-　単位：-			-		-
	-　単位：-					-

定性指標	
2022年度達成結果	姉妹都市（ウッデバラ市、ニューポートビー市）とのオンラインを活用した交流を実施することができた。
2023年度達成結果	姉妹都市・ウッデバラ市の受入およびオンライン交流を実施することができた。また、友好都市・呼和浩特市の受入・派遣も実施することができた。
2024年度達成結果	アメリカ・ニューポートビーチ市姉妹都市提携 40 周年記念事業として受入・派遣を行い交流を促進することができた。
2024年度達成基準	アメリカ・ニューポートビーチ市姉妹都市提携 40 周年記念事業として受入・派遣を行い交流を促進する。
2025年度達成基準	姉妹友好都市と対面またはオンラインを活用した交流を実施する。
指標分析	姉妹友好都市と対面およびオンラインの双方を活用した交流を実施することができた。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	0	379573	12686014
	人員（単位：人）	0.75	0.75	1.1

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	姉妹友好都市交流
担当所属	社会文化部多様性社会推進課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	3	4	4	3	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	3	4	4	3	4	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	国際交流推進		
分野別指針	スマートでスリムな行政運営の確立		
個別計画等	その他	基礎事業名	国際交流の推進
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）
担当所属	社会文化部多様性社会推進課		

事業概要
事業概要 国際交流の推進に関する市民の間の機運の高まりから、昭和 60 年に岡崎市国際交流協会（OIA）が設立された。本業務は、国際交流や多文化共生を推進する役割を持つ岡崎市国際交流協会（OIA）の事務局業務を行うものである。 対象 国際交流に関心のある日本人・外国人市民 手段 岡崎市国際交流協会（OIA）事務局業務。多文化共生推進事業として外国人市民支援ボランティアの支援等を行う。国際交流事業として会話講座、国際理解講座等を行う。海外交流事業として市から委託を受け姉妹友好都市との提携記念事業、また、ウッデバラ市高校生の受入れ、高校生のウッデバラ市への派遣、呼和浩特市高校生の受入れ、高校生の呼和浩特市への派遣事業を行う。 意図・成果 市民の国際理解の増進、多文化共生の推進や本市の国際化を推進する。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	OIA国際理解に関するセミナー参加人数 単位：人	253	257	206	180	210
	-　単位：-					
定性指標	2022年度達成結果	-				
	2023年度達成結果	-				
	2024年度達成結果					
	2024年度達成基準	-				
	2025年度達成基準					
指標分析						

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	0	0	0
	人員（単位：人）	1.34	1.17	1.22

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	国際交流推進
担当所属	社会文化部多様性社会推進課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	4	4	4	3	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	4	4	4	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	4	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	国際理解推進		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	多文化共生推進基本計画	基礎事業名	多文化共生の推進
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）
担当所属	社会文化部多様性社会推進課		

事業概要
事業概要 外国人市民と日本人市民との交流を促進するための拠点となるりぶら国際交流センター（LICC）を運営し、外国の文化を学ぶ講座を開催するなど互いの文化や生活習慣を学習する機会を提供する。 対象 日本人市民と外国人市民 手段 国際理解セミナーの開催 意図・成果 日本人市民が様々な国の文化や生活習慣を学習し、地域の外国人市民をより理解できるようになる。外国人市民が日本の文化や生活習慣、規則を学習し、地域の日本人市民とスムーズな共生ができるようになり、相互交流が促進される。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	受講者数　単位：人	320	214	329	250	360
	LICC講座数　単位：回	25	19	20	20	19
定性指標	2022年度達成結果	-				
	2023年度達成結果	昨年度に引き続き、日本文化を体験する講座を市民活動団体の協力を得て実施した。				
	2024年度達成結果	昨年度に引き続き、日本文化（盆踊り）を体験する LICCdeJAPAN を市民活動団体の協力を得て実施できた。				
	2024年度達成基準	引き続き、市民活動団体との協働を行とともに、昨年度実施できなかったワールドレクチャーも実施する。				
	2025年度達成基準	市民活動団体との協働を行とともに、アジア大会フレンドシップ事業を実施する。				
指標分析	受講者数、講座回数ともに、ことばの教室の実施回数が増加したため、目標を上回った。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	145847	50741	111136
	人員（単位：人）	0.45	0.35	0.25

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	国際理解推進
担当所属	社会文化部多様性社会推進課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	3	4	4	3	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	4	4	4	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	4	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	外国人市民支援事業補助		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	多文化共生推進基本計画	基礎事業名	多文化共生の推進
根拠法令要綱	岡崎市外国人市民支援事業費補助金交付要綱		
事業期間	2020 ～ 2022	運営形態	自治事務（補助等）
担当所属	社会文化部多様性社会推進課		

事業概要

事業概要
外国人市民の居住期間が長期化して定住化が進行するとともに、外国人市民が抱える多様化・複雑化する問題を行政のみで対処することが困難になりつつある。このような状況下で、外国人支援のためにボランティア活動を行う市民活動団体がこれらの問題へ対処しており、行政の行う多文化共生推進業務を補完している市民活動団体の活動費を補助する。

対象
外国人市民・日本人市民

手段
補助金の交付

意図・成果
・市民活動団体により行政では対応することが難しい外国人市民への細やかな支援が行われる。・外国人市民と日本人市民との相互交流・相互理解が促進される。・市民活動団体と行政との市民協働が促進される。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	ボランティア登録者数　単位：人	151	143	143	120	120
	実施事業件数　単位：件	29	33	35	35	36

定性指標	
2022年度達成結果	-
2023年度達成結果	昨年度に引き続き、交付団体が自発的に他の交付団体へ働き掛けることにより、関係団体役員を集めた情報交換会を実施した。さらに、各団体の事業に互いのメンバーや学習者を参加させることで、相互の交流や理解を深めることができた。
2024年度達成結果	昨年度に引き続き交付団体が自発的に他団体へ働きかけることにより、関係団体役員を集めた情報交換会を実施し、情報を共有することができた。さらに、各団体の事業に互いのメンバーや学習者を参加させ合うことで、相互の交流や理解を図ることができた。
2024年度達成基準	定期的な情報共有会議を開催し、代表だけでなく、各団体役員同士が顔の見える関係を構築し、コロナ前の活発な活動内容に戻るようにする。
2025年度達成基準	定期的な情報共有会議を行い、代表だけでなく各団体役員同士が顔の見える関係を構築し、活発な活動内容に戻るよう助言していく。
指標分析	ボランティア登録者数は、一昨年度活動の無かった団体が昨年度途中まで活動を継続したため、増加した。事業件数は、各グループ高い目標設定により、達成できなかった。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	92000	103000	105000
	人員（単位：人）	0.35	0.3	0.25

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	外国人市民支援事業補助
担当所属	社会文化部多様性社会推進課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	4	4	3	4	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	3	3	4	4	4	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	3	4	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	女性活躍推進		
分野別指針	女性や子どもがいきいきと輝ける社会づくり		
個別計画等	男女共同参画基本計画	基礎事業名	女性活躍の推進
根拠法令要綱	男女共同参画社会基本法、女性活躍推進法、雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律、岡崎市男女共同参画の推進及び多様な性を尊重する社会を実現するための条例		
事業期間	2016 ～ 2026	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	社会文化部多様性社会推進課		

事業概要

事業概要
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（以下、女性活躍推進法）第6条に規定の「市町村推進計画」として位置づけられた第5次岡崎市男女共同参画推進計画に基づき、女性の職業生活における活躍を推進するとともに、ワーク・ライフ・バランス推進の支援を行う。

対象
市民、市民団体、事業者

手段
就業希望等の女性を対象にした人材育成や就労へのマッチング、柔軟な働き方としてのテレワーカーの養成、スキルアップのためのeラーニングの実施、市内事業所へのアドバイザーの派遣等を行い、女性活躍やワーク・ライフ・バランスを推進する。また、子育て中の女性の就業を支援するため、公共職業安定所との共催で出張マザーズハローワークや、育休復帰を支援するセミナー等を開催する。

意図・成果
就業中、又は就業希望の女性の個性と能力が十分に発揮されている。性別を問わず、職業生活と家庭生活との円滑かつ継続的な両立が可能になっている。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	市内におけるあいち女性輝きカンパニー認証企業数の合計 単位：事業所	64	67	70	30	30
	女性活躍推進講座開催数　単位：回	9	11	4	4	4
定性指標	2022年度達成結果	-				
	2023年度達成結果					
	2024年度達成結果					
	2024年度達成基準					
	2025年度達成基準					
指標分析	アドバイザー派遣事業等、女性活躍の支援やワーク・ライフ・バランスの推進の効果により、目標値を上回った。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	4213471	4386740	4868921
	人員（単位：人）	1.01	1.21	1.22

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	女性活躍推進
担当所属	社会文化部多様性社会推進課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	2	4	4	4	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	4	4	4	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	3	

令和 7 年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	多文化共生推進基本計画策定業務		
分野別指針	多様な主体が協働・活躍できる社会づくり		
個別計画等	多文化共生推進基本計画	基礎事業名	多文化共生の推進
根拠法令要綱			
事業期間	2024 ～ 2030	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	社会文化部多様性社会推進課		

事業概要
事業概要 本市では平成 16 年に「岡崎市国際化推進プラン」、平成 24 年度に「岡崎市多文化共生推進基本指針」、令和3年に「多文化共生基本計画」を策定し、長期にわたり多文化共生推進を進めるため環境整備や意識啓発に取り組んできました。 ・第7次岡崎市総合計画の総合政策指針の分野別指針「（4）多様な主体が協働・活躍できる社会づくり」に位置づけられており、「多様な主体が協働・活躍できる地域共生社会の実現による安全安心なまち」を目指すとしています。 ・「多文化共生基本計画」が令和7年度に満了することに伴い、これまでの取組や社会情勢の変化を踏まえ、本市の強みを活かして、独自色のある施策や事業を実施していくための総合的な指針として、新計画を策定する。 対象 市、市民（外国人・日本人）、教育に携わる者、市民団体、事業者、市職員 手段 多文化共生や多様な人材に関する意識・実態調査の実施。 多文化共生推進会議の開催。パブリックコメントの実施。 意図・成果 意識・実態調査の結果やこれまでの取組、社会情勢の変化等を踏まえ、「岡崎市多文化共生推進計画」を策定する。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	- 単位：-					
	- 単位：-					
定性指標	2022年度達成結果	-				
	2023年度達成結果	-				
	2024年度達成結果	多文化共生や多様な人材に関する意識・実態調査の実施・集計・分析等を行い、計画策定のための基礎調査を完了することができた。				
	2024年度達成基準					
	2025年度達成基準	「岡崎市多文化共生推進計画」を策定し、公表することができている。				
指標分析	-					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）			3733400
	人員（単位：人）			0.35

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	多文化共生推進基本計画策定業務
担当所属	社会文化部多様性社会推進課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	4	4	4	4	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	4	4	4	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	4	4	4	4	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	市民センター講座開催		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	生涯学習推進計画	基礎事業名	身近な学習拠点の活用
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）
担当所属	社会文化部生涯学習課〇		

事業概要

事業概要
市民が気軽に生涯学習活動に親しみながら、新しい知識を得たり、教養を高めたり、また、スポーツやレクリエーションを楽しみながら、地域の交流を深め、地域の一員として充実した生活を送るための学習機会のきっかけづくりとして、初心者を対象に1年通して学習する定期講座を提供する。また、短期間で効果的に学ぶ講座として市民講座を提供する。生涯学習への参加機会を確保することで、市民の「学びたい」というニーズに対応して、生涯にわたり学習できる環境を実現する。

対象
市内在住在勤在学の方

手段
定期講座については、市政だより、ホームページ、チラシ等で受講者を募集し、5月後半から翌年3月末にかけて、10 回又は 18 回の講座を行う。　市 民 講座については、開催の都度、市政だより、ホームページ等で受講者を募集し、講座を開催する。
◆定期講座開催実績
　令和2年度　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施
　令和3年度　85 講座　1,117 回
　令和4年度　86 講座　1,156 回
◆市民講座開催実績
　令和2年度　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施
　令和3年度　37 講座　105 回
　令和4年度　58 講座　120 回

意図・成果
気軽に参加できる講座を開催することにより、生きがいづくりや地域での交流、また社会への参加のきっかけが提供できている。　また、主に定期講座修了者がさらに深く学ぶために、自発的に自主講座を立ち上げ、市民主導の生涯学習活動へ発展している。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	講座数　単位：講座	144	99	107	110	70
	各種講座受講者数 単位：人	17802	14794	13530	13530	2400

定性指標		
	2022年度達成結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら、市民に学びの機会を提供することが出来た。
	2023年度達成結果	市民ニーズを捉えた講座を開講することにより、市民に学びの機会を提供することができた。
	2024年度達成結果	受講者アンケートをふまえ、市民ニーズを捉えた講座を開講することにより、市民に新たな学びの機会を提供することができた。
	2024年度達成基準	前年度の受講者アンケートの結果をふまえ、市民の興味や関心、ニーズを捉えた講座を設けることにより、市民に新たな学びの機会を提供する。
	2025年度達成基準	市民の自らが設立・運営する自主講座団体での学びを支援するとともに、市民の興味や関心、ニーズを捉えた学びのきっかけとなる短期的な講座を設けることにより、市民に新たな学びの機会を提供する。
指標分析	受講者数は横ばいの状況だが、講座数を増やすなど、市民の興味や関心、ニーズを捉えた講座を開講することができた。	

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	8238321	6033970	5547298
	人員（単位：人）	1.25	15.65	16.78

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	市民センター講座開催
担当所属	社会文化部生涯学習課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	2	2	2	2	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	2	2	2	2	3	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	市民センター管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	生涯学習推進計画	基礎事業名	身近な学習拠点の活用
根拠法令要綱	岡崎市市民センター条例、岡崎市市民センター条例施行規則		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	社会文化部生涯学習課〇		

事業概要

事業概要
市民センターは、生涯学習の地域拠点施設であり、市内に8箇所（中央・南部・南部分館・大平・東部・岩津・矢作・六ツ美）設置されている。昨今の社会・経済の変化に対応していくため、また社会の成熟化に伴い、幅広い年齢の人々に学ぶことの意欲が高まっている。市民センターは、このような学習需要の拡大に応えるために、人々が生涯いつでも自由に学習機会を選択して学習することのできる場として利用されている。主な事業としては、初心者を対象に、文化・教養の向上や健康の増進、趣味などについて学ぶ定期講座、現代的課題や生活のための課題などを学ぶ市民講座、市民が自主的に講座を開設し学ぶ自主講座などが実施されている。また、市民センターは、企業等の会議の会場となる等、一般利用にも供されている。また、地域図書室の機能も有しており、収蔵図書の閲覧・貸出・返却のほか、中央図書館や他の地域図書室で借りた図書の返却や貸出予約した図書の受取りもできる。そのような市民センターを、市民が快適に利用できるよう運営するために、必要な業務を実施する。

対象
市民センター利用者

手段
定期講座、市民講座、自主講座などの各種講座の会場等の提供及び、図書の貸出・返却を行う。

意図・成果
利用者にとって良好な学習環境を維持することにより、市民の生涯学習意欲を高め、新たな生きがいにつなげる。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	市民センター利用者数　単位：人	162442	142872	178927	142872	168360
	-　単位：-					

定性指標	
2022年度達成結果	利用者にとって良好な学習環境を提供し、かつ、一般利用の拡大により、目標となる利用者数を達成できるよう計画的にな管理運営を行う。
2023年度達成結果	
2024年度達成結果	利用者にとって良好な学習環境を維持し、目標以上の利用者に利用してもらうことができた。
2024年度達成基準	
2025年度達成基準	
指標分析	全てのセンターで、前年度より利用者数が増加した。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	48732531	43732242	45937345
	人員（単位：人）	2.2	21.16	21.33

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	市民センター管理運営
担当所属	社会文化部生涯学習課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	1	3	2	2	3	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	2	1	2	2	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	3	4	4	4	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	市民センター施設整備		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	生涯学習推進計画	基礎事業名	身近な学習拠点の活用
根拠法令要綱	岡崎市市民センター条例		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	社会文化部生涯学習課〇		

事業概要
事業概要 市民センターは、生涯学習の地域拠点施設であり、市内に8箇所（中央・南部・南部分館・大平・東部・岩津・矢作・六ツ美）設置されている。昨今の社会・経済の変化に対応していくため、また社会の成熟化に伴い、幅広い年齢の人々に学ぶことの意欲が高まっている。市民センターは、このような学習需要の拡大に応えるために、人々が生涯いつでも自由に学習機会を選択して学習することのできる場として利用されている。主な事業としては、初心者を対象に、文化・教養の向上や健康の増進、趣味などについて学ぶ定期講座、現代的課題や生活のための課題などを学ぶ市民講座、市民が自主的に講座を開設し学ぶ自主講座などが実施されている。また、市民センターは、企業等の会議の会場となる等、一般利用にも供されている。また、地域図書室の機能も有しており、収蔵図書の閲覧・貸出・返却のほか、中央図書館や他の地域図書室で借りた図書の返却や貸出予約した図書の受取りもできる。そのような市民センターを、市民が快適に利用できるよう運営するために、必要な施設整備を実施する。 対象 市民センター利用者 手段 市民センター施設、設備等の改修工事等を行う。 意図・成果 利用者にとって良好な学習環境を維持することにより、市民の生涯学習意欲を高め、新たな生きがいにつなげる。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	-　単位：-					
	-　単位：-					
定性指標	2022年度達成結果	予定していた整備工事を、安全に、期間内に完成させた。				
	2023年度達成結果	予定していた整備工事を、安全に、期間内に完成させた。				
	2024年度達成結果	予定していた整備工事を、安全に、期間内に完成させた。				
	2024年度達成基準	予定している整備工事を、安全に、期間内に完成させる。				
	2025年度達成基準	予定している整備工事を、安全に、期間内に完成させる。				
指標分析	-					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	8475500	2165900	1402500
	人員（単位：人）	0.2	0.2	0.4

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	市民センター施設整備
担当所属	社会文化部生涯学習課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	4	4	4	4	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	1	2	4	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	2	3	4	3	2	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	図書館交流プラザ施設整備		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	生涯学習推進計画	基礎事業名	生涯学習拠点による学びの形の創造
根拠法令要綱	岡崎市図書館交流プラザ条例、岡崎市図書館交流プラザ条例施行規則		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	社会文化部生涯学習課〇		

事業概要
事業概要 市民が自ら学ぶ、岡崎の知的活動拠点として「図書館・活動支援・文化創造・交流」の ４ つの機能を併せ持つ複合施設である図書館交流プラザをより多くの市民に利用していただけるよう快適な環境を整備する。 対象 図書館交流プラザの施設利用者 手段 図書館交流プラザ設備の改修工事を行う。 意図・成果 多くの方に施設を安全に利用していただく。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	-　単位：-					
	-　単位：-					
定性指標	2022年度達成結果	予定していた整備工事を、安全に、期間内に完成させた。				
	2023年度達成結果	予定していた整備工事を、安全に、期間内に完成させた。				
	2024年度達成結果	予定していた整備工事を、安全に、期間内に完成させ、かつ、複数年にわたる工事の発注を行うことができた。				
	2024年度達成基準	予定している整備工事を、安全に、期間内に完成させ、また、複数年にわたる工事の発注を行う。				
	2025年度達成基準	予定している整備工事を、安全に、期間内に完成させる。				
指標分析	-					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	9508466	55000000	1287000
	人員（単位：人）	0.3	0.3	0.45

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	図書館交流プラザ施設整備
担当所属	社会文化部生涯学習課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	4	4	4	4	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	1	3	4	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	2	3	4	3	2	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	ジャズの街岡崎発信		
分野別指針	スマートでスリムな行政運営の確立		
個別計画等	その他	基礎事業名	岡崎のプロモーション
根拠法令要綱	-		
事業期間	2012 ～ -	運営形態	自治事務（補助等）
担当所属	社会文化部生涯学習課〇		

事業概要
事業概要 公民が連携し、ジャズをツールとして情報発信を行い、岡崎のブランド化、街の活性化、文化・観光・まちづくりの振興を図ることを目的とし、「ジャズの街岡崎」を市内外に発信する。 対象 市民、市内の事業者、ジャズ愛好家、ボランティア団体、アーティスト 手段 市民ボランティアと市で構成するジャズの街岡崎発信連絡協議会が行う事業に対し、負担金を支出する。また、同協議会の事業運営に関わるとともに、事務局として広報、会計等の事務を行う。 市中心部で毎年秋に開催される岡崎ジャズストリートに対し、補助金を支出する。（補助対象経費：出演料、補助率：補助対象経費の 2 分の 1 かつ予算の範囲内） りぶらジャズオーケストラJr. 岡崎（通称：Beanzz）の運営 Jazz の街岡崎アンバサダーに任命した者と協力してコンサート事業を中心に Jazz の街岡崎の PR 活動を行う。 意図・成果 文化遺産である内田修ジャズコレクションの価値を広く PR し活用するとともに、関係団体等との協働により取組みをすすめることで、「Jazz の街岡崎」の認知度が向上し、市外からの訪問者やジャズに親しむ市民が増加している。また、次世代のジャズ演奏者の育成の場の提供により、ジャズに演奏し親しむ市民等が増加している。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	- 単位：-					
	- 単位：-					
定性指標	2022年度達成結果	市民ボランティアや民間事業者と協力して事業を実施し、「Jazz の街岡崎」を広く PR することができた。				
	2023年度達成結果	内田修ジャズコレクションを活用した取組みを推進するとともに、市民ボランティアや民間事業者と協力して事業を実施し、「Jazz の街岡崎」を広く PR することができた。				
	2024年度達成結果	内田修ジャズコレクションを活用した取組みを推進するとともに、JAZZ の街岡崎アンバサダーを新たに任命し、アンバサダー・市民ボランティア・民間事業者と協力して事業を実施し、市内外問わず「Jazz の街岡崎」を広く PR することができた。				
	2024年度達成基準	内田修ジャズコレクションを活用した取組みを推進するとともに、JAZZ の街岡崎アンバサダーや市民ボランティア・民間事業者との協力などにより各種事業を実施し、「Jazz の街岡崎」「日本 JAZZ の故郷岡崎」を広く PR する。				
	2025年度達成基準	内田修ジャズコレクションを活用した取組みを推進するとともに、JAZZ の街岡崎アンバサダーや市民ボランティア・民間事業者との協力などにより各種事業を実施し、「Jazz の街岡崎」「日本 JAZZ の故郷岡崎」を広く PR する。				
指標分析	内田修ジャズコレクションの活用や魅力的なジャズイベントを開催するなど取組みを推進したことにより、多くの人に「ジャズの街岡崎」を PR することができた。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	11246467	12968089	11109600
	人員（単位：人）	1.8	3.27	3.82

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	ジャズの街岡崎発信
担当所属	社会文化部生涯学習課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	2	3	3	3	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	2	3	3	4	4	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	3	3	3	1	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	図書館交流プラザ管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	生涯学習推進計画	基礎事業名	生涯学習拠点による学びの形の創造
根拠法令要綱	岡崎市図書館交流プラザ条例、岡崎市図書館交流プラザ条例施行規則		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	社会文化部生涯学習課〇		

事業概要

事業概要
市民が自ら学ぶ、岡崎の知的活動拠点として「図書館・活動支援・文化創造・交流」の ４ つの機能を併せ持つ複合施設である図書館交流プラザをより多くの市民に利用していただけるよう快適な環境を整備し、利便性を確保するため設備総合保守管理、清掃、警備、受付案内、植栽管理、舞台音響照明管理、機械警備等施設の管理及び運営に関わる業務及び事務を執り進めている。

対象
図書館交流プラザの施設利用者

手段
図書館交流プラザの管理及び運営の業務委託（設備総合保守管理、清掃、警備、機械警備業務、受付案内、舞台音響照明管理、植栽管理業務など）

意図・成果
施設の効率的かつ利便性、衛生の保全、安全安心性を高める管理運営を図り、多くの方に施設を利用していただく。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	図書館交流プラザ入館者数　単位：人	1252598	1375043	1415687	1375043	1415687
	-　単位：-					

定性指標		
	2022年度達成結果	多くの市民に利用される施設として、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施しながら、快適な空間を提供することができた。
	2023年度達成結果	
	2024年度達成結果	利用者にとって衛生的、安心安全な環境を維持し、目標以上の利用者に施設を利用してもらうことができた。
	2024年度達成基準	
	2025年度達成基準	利用者にとって衛生的、安心安全な環境を維持し、多くの利用者に施設を利用してもらう。
指標分析	前年度より利用者数は微増。前年度より利用者数が少ない月もあった。	

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	399860729	386580965	405629112
	人員（単位：人）	3.9	4.05	4.15

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	図書館交流プラザ管理運営
担当所属	社会文化部生涯学習課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	3	3	3	2	2	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	4	4	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	3	3	3	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	中央図書館管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	子ども読書活動推進計画	基礎事業名	知的活動と創造的文化活動の支援
根拠法令要綱	社会教育法及び図書館法、岡崎市立図書館条例、岡崎市立図書館管理規則、子どもの読書活動の推進に関する法律、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	中央図書館		

事業概要
事業概要 複合施設図書館交流プラザの中核機能として収蔵能力が100万冊ある。自動化書庫、自動仕分け機等の導入により業務の迅速化と効率化を図る。図書館システム運営のため、端末の賃借、システム保守を行う。市民からの様々な知的要求に応えるため、適切な資料を収集し、提供する。子どもにとって充実した読書環境となるよう、資料の充実と提供、子どもが楽しめるイベント等の事業を実施する。図書館利用者の学習、研究及び調査の求めに応じて必要な情報や参考資料等を提供する支援業務、利用者の課題ごとに書誌や索引など提供した内容を整理する業務を行う。ハンディキャップを持つ図書館利用者に各種資料の提供、郵送貸出及び対面朗読サービスを行う。ニーズの多様化に対応できる資料体系の整備を行い、情報提供する。 対象 市民並びに愛知県内在住、在勤又は在学者はじめすべての図書館利用者 手段 ・中央図書館設備の保守点検、設備機器等の維持管理・業務システム用機器の賃借、電算消耗品の購入、システムの修正、保守委託・図書館資料の選定、購入、書誌・所蔵データ登録、受入、装備、提供、利用者登録・児童向けの読み聞かせ、各種イベントの実施、読書通帳機の運営・データベース資料利用の拡充、他図書館との相互貸借制度の積極的運用・録音図書の購入及び郵送貸出業務・郷土、地域資料をデジタルアーカイブ化及び整理・雑誌スポンサーなど自主財源の確保 意図・成果 図書館業務の円滑な推進と利用者の利便性の向上を図る。具体的には、市民が必要とする資料を入手できるよう蔵書を充実させ、貸出返却サービス、予約サービスなど各種サービスの迅速な支援等を図る。結果、利用者に対するサービスが的確であり、また、利用者の満足度が得られるようにしていく。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	図書館入館者数　単位：人	876446	911135	991265	950000	1000000
	図書貸出冊数　単位：点	1430014	1345544	1450000	1450000	1400000
定性指標	2022年度達成結果	-				
	2023年度達成結果	-				
	2024年度達成結果	-				
	2024年度達成基準	-				
	2025年度達成基準	-				
指標分析	入館者数は増加傾向にあり、100 万人達成が目前となっている。しかし、貸出冊数は微増にとどまっている。電子図書やオンラインサービスが増える中で、来館して物理的な資料を借りるニーズが減少している可能性がある。また、利用者が図書館を訪れる目的が、貸出よりも資料の閲覧や学習にシフトしていることも考えられる。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	279798819	301962022	316347018
	人員（単位：人）	19.33	19.42	20

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	中央図書館管理運営
担当所属	中央図書館

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	3	2	2	2	2	2
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	3	3	4	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	2	2	3	2	

令和 7 年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	額田図書館管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	子ども読書活動推進計画	基礎事業名	知的活動と創造的文化活動の支援
根拠法令要綱	社会教育法及び図書館法、岡崎市立図書館条例、岡崎市立図書館管理規則、子どもの読書活動の推進に関する法律、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	中央図書館		

事業概要
事業概要 平成 18 年に額田町との合併により岡崎市立額田図書館（分館）となった。平成 30 年2月の額田センター内への移転に伴い、施設規模が縮小したが、分館の機能を維持しつつ、図書館サービスを実施し、市民に広く利用されている。月に2回、おはなしコーナーにて絵本や紙芝居による読み聞かせを開催しており、子どもたちに本の世界の楽しさ、豊かさを伝えている。 対象 市民及び愛知県内在住、在勤、在学者 手段 ・貸出・返却処理など窓口サービスを業務委託し、効率的な運営をする。・図書資料を選定、購入し、図書の充実を図る。・図書館システムを運用する。・中央図書館との物流を確保する。・委託業者と月 1 回会議を開催し、本館同様のサービス提供の認識を図り、また現場の状況を把握する。・書架整理や蔵書点検を行い、利用しやすい環境を提供する。・定期的にぬかた便りを発行し、情報提供をする。 意図・成果 分館として額田地区の利用者へ図書館サービスを提供する。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	額田図書館貸出者数 単位：人	11181	10735	10593	11500	11000
	額田図書館貸出点数 単位：点	50221	46495	50000	50000	45000
定性指標	2022年度達成結果	-				
	2023年度達成結果	-				
	2024年度達成結果	-				
	2024年度達成基準	-				
	2025年度達成基準	-				
指標分析	貸出冊数、貸出人数共に減少が続いている 生活様式の多様化や額田支所管内の人口が減少傾向にあることなどが影響として考えられるため利用者の増加も難しくなっていると思われるが、テーマ展示やイベントの開催などにより来館者を増やす工夫を行っていく。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	13059476	13090159	13490641
	人員（単位：人）	0.94	0.99	1.14

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	額田図書館管理運営
担当所属	中央図書館

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	2	3	3	2	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	3	3	4	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	3	4	3	2	

令和 7 年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	地域図書室サービス支援		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	子ども読書活動推進計画	基礎事業名	知的活動と創造的文化活動の支援
根拠法令要綱	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	中央図書館		

事業概要

事業概要

地域図書室は図書館法第 3 条 5 項の「分館、閲覧所、配本所等を設置し」という規定から定められており、同条文で図書館は設置に努めなければならないとされている。当市では昭和 46 年に明大寺町に新図書館開館後、昭和 52 年より市民センターへの配本が開始された。現在7箇所ある全ての市民センターに図書室（地域図書室）が設置されており、地域住民の読書環境の場として図書サービスポイントの役割を果たしている。また、中央図書館と共通のシステムで資料を管理し、物流による資料の運搬を行うことで利便性の向上に努めている。地域図書室の中で最大の利用者数を誇る南部市民センター図書室は、平成 14 年にシビックセンター内移転に伴い図書室運営を業務委託とし、読み聞かせコーナーでは定期的におはなし会も開催している。他に、岩津市民センターでは平成 17 年、矢作市民センターでは平成 20 年にそれぞれ支所移転後におはなしスペース設置、六ツ美市民センターでは平成 31 年に第1会議室を子ども図書室に改装し図書室の充実を図っている。

対象

市民及び愛知県内在住、在勤、在学者。

手段

中央図書館と共通のシステムで資料を管理し図書室運営を支援。中央図書館と地域図書室間の予約資料等の定期配送業務や南部市民センター図書室の窓口サービスの業務を委託。地域図書室で読み聞かせを開催するため、活動ボランティア団体を支援。

意図・成果

地域図書室の資料を充実することで地域の読書環境が整備され、交通手段を持たない子どもや高齢者が図書館サービスを受けることができる。また市内の図書館ネットワークを整備することで予約資料の受取、所蔵館以外で返却等が容易にできるようになるため、利便性が向上する。また、地域図書室の読み聞かせ活動に関しては、当市の子ども読書活動を推進する上で重要な取組事業となっている。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	地域図書室貸出者数　単位：人	111166	110903	116594	111000	116000
	地域図書室貸出者数（０～１５歳）　単位：人	20249	19268	20000	20000	20000
定性指標	2022年度達成結果	-				
	2023年度達成結果	-				
	2024年度達成結果	-				
	2024年度達成基準	-				
	2025年度達成基準	-				
指標分析	近年、地域図書室において除架作業を強化しており、書棚を新鮮に保つよう努めている。また、テーマ図書展示を積極的に行い、利用者の興味関心を引くよう取り組んでいる。テーマ図書展示による情報発信、及び、利用しやすい書棚を作るよう取り組んでいることが、地域図書室の利用者増の一因を担っていると考えられる。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	30856431	33308189	34195587
	人員（単位：人）	2.88	2.76	2.86

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	地域図書室サービス支援
担当所属	中央図書館

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	3	2	4	2	1	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	3	3	3	4	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	2	

令和 7 年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	ブックスタート実施		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	子ども読書活動推進計画	基礎事業名	知的活動と創造的文化活動の支援
根拠法令要綱	子ども読書活動の推進に関する法律		
事業期間	2010 ～ -	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	中央図書館		

事業概要

事業概要
赤ちゃんは、愛情に満ちた「ことば」を語りかけられることで、自分がとても愛され、大切にされていることを感じ、心健やかに育つと言われている。ブックスタート事業は、親子が「ことば」を通したあたたかな時間をわかちあうきっかけづくりとして、この地域に生まれたすべての赤ちゃんと保護者に、絵本を開く体験と一緒に絵本を手渡す活動である。岡崎市の未来を担う子どもたちの豊かな心づくりのため、また、子育てを応援するまちづくりのため、ブックスタート事業を実施する。

対象
生後4か月以上2年未満の乳幼児及びその保護者で、事業実施時に本市に在住する者（ただし、本市以外の自治体でブックスタート等のサービスを受けた者は除く）。

手段
乳幼児を対象として、読み聞かせ及び絵本の手渡しを行う。絵本の読み聞かせをしながら、親子で一つの絵本を共有する時間の楽しさや大切さを伝える。対象者に手渡すブックスタートパックには、絵本1冊、アドバイスリーフレット、絵本リスト、図書館の利用案内、子育て支援に関する文書等を入れる。実施場所は中央図書館子ども図書室（毎週月曜日・木曜日）、1歳6か月児健康診査会場（岡崎げんき館）。平成 27 年度から額田図書館と南部市民センター図書室で2か月に1回実施。令和6年度、南部市民センター図書室で毎月 1 回に実施機会を増やす。また、体制の維持整備を図るため、ブックスタートボランティア養成講座を実施し、ボランティアの育成を行う。

意図・成果
乳幼児と保護者が、絵本を介してゆっくり心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる。子どもの読書活動が活発となり、より深く、豊かに生きるための手段としての読書を身につけることにつながる。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	ブックスタート実施者数　単位：人	3078	2774	2603	2700	2500
	-　単位：-					

定性指標	
2022年度達成結果	-
2023年度達成結果	-
2024年度達成結果	-
2024年度達成基準	-
2025年度達成基準	-
指標分析	出生数が減少したため、目標値との乖離があった。ブックスタートは着実に実施している。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	2233178	2334128	2371940
	人員（単位：人）	2.15	2.05	2

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	ブックスタート実施
担当所属	中央図書館

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	-	2	2	2	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	2	3	4	3	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	2	

令和 7 年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	各種講座開催		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	子ども読書活動推進計画	基礎事業名	知的活動と創造的文化活動の支援
根拠法令要綱	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）
担当所属	中央図書館		

事業概要

事業概要
図書館講座の開催は図書館法第3条「図書館奉仕」の一つで、市民の学ぶ意欲を助長したり、図書館の活動を理解してもらうため、独自性のある講座を開催する。ボランティア養成講座については、受講後、希望者にボランティア登録をしてもらい、図書館ボランティアとして、読み聞かせ、ストーリーテリング、ブックスタート、本の修理、対面朗読、古文書翻刻などの活動に参加してもらう。そのほかの講座については多様な学習機会の提供を通じ、図書館の利用を促す。

対象
主に市民

手段
講座の企画、講師の依頼、会場の手配、参加者の募集をする。

意図・成果
参加者に図書館運営が理解され、一般市民のボランティア参加を促し、市民と協働した図書館運営が図られる。読み聞かせ、ブックスタート、図書資料修理、図書館まつりなどではたくさんのボランティアが活動しており、図書館サービスの充実を図るためにはボランティアの養成は不可欠である。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	各種講座受講実人数　単位：人	66	45	42	60	30
	ボランティア登録者数　単位：人	270	291	321	321	290

定性指標	
2022年度達成結果	-
2023年度達成結果	-
2024年度達成結果	-
2024年度達成基準	-
2025年度達成基準	-
指標分析	募集定員の 7 割以上の参加があった。今年度は開催予定のボランティア養成講座が2つのため、目標値を下げている。ボランティア登録者数としては新規登録者数よりも退会者数の方が多かったため、前年度よりも減ってしまった。（令和6年度新規登録者数：31 名）図書館が多様なサービスを維持していくために継続的にボランティア養成の講座は必要である。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	64000	44980	64000
	人員（単位：人）	0.66	0.56	0.51

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	各種講座開催
担当所属	中央図書館

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	3	-	3	2	4	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	2	3	4	3	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	2	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	岡崎むかし館運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	生涯学習推進計画	基礎事業名	生涯学習拠点による学びの形の創造
根拠法令要綱	-		
事業期間	2008 ～ -	運営形態	自治事務（全部直営）
担当所属	中央図書館		

事業概要

事業概要
生涯学習施設として、市の歴史や生活文化を通史で学べる常設展示を実施するとともに、所蔵している資料を活用した企画展を実施することにより、公開の機会が少ない資料を有効活用する。市の歴史・生活文化を広く紹介することにより、地域を学ぶきっかけとなり、生涯学習への導入となる。学校・学習支援として、総合学習や社会科授業における体験活動に役立つ資料を展示し、社会科授業で必要に応じた資料の貸出をする。市の地域文化を語るうえでの必要不可欠な資料として収集したものを展示・保管する。

対象
市民、小中学生、岡崎の歴史や文化に興味のあるかた

手段
常設展示では、地域に伝わる伝承や祭り、人々の暮らしの移り変わり、郷土の偉人の功績などを紹介し、地域の再発見に結びつく展示を実施する。企画展示では、郷土の暮らし、遊び、学びなどをテーマにし、郷土学習にも活用可能な展示を実施する。
りぶら映像アーカイブスを運用して郷土の古い映像資料を提供する。
学校・学習支援として、むかし館見学の受け入れ、資料セットの貸し出しを実施する。小中学校社会科自由研究支援として、社会科部会と連携して夏休み期間中の学習相談会を行う。各小中学校から選出された優秀作品の展示を行う。

意図・成果
様々な展示物は高齢者には懐かしく若い世代には珍しく映り、見たり触ったりすることで暮らしの移り変わりを知ることができる。壁面の岡崎市の歴史や郷土の偉人の功績などの展示は、りぶらを訪れる市内外の利用者に直接的に岡崎市をPRする場となっている。むかし館での展示や活動により、小中学校の総合学習や社会科学習を支援し、郷土資料に対する関心や郷土学習への導きの場となる。市の歴史・文化に対する興味や関心を引き起こすことで、学校・学習支援や生涯学習への導入となる。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	岡崎むかし館入館者数　単位：人	86990	75147	79844	75000	75000
	-　単位：-					-

定性指標	
2022年度達成結果	-
2023年度達成結果	-
2024年度達成結果	-
2024年度達成基準	-
2025年度達成基準	-
指標分析	小学校社会科見学の受入、定例イベント（むかし遊びや季節のよみ聞かせ）のほか、魅力ある企画展やイベント等の開催により、入館者は幅広い年齢層で一定数を維持することができている。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	1318549	964010	1338752
	人員（単位：人）	1.12	1.12	1.38

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	岡崎むかし館運営
担当所属	中央図書館

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	3	3	3	3	3	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	1	2	3	2	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	2	

令和 7 年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	児童読書活動支援		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	子ども読書活動推進計画	基礎事業名	知的活動と創造的文化活動の支援
根拠法令要綱	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律		
事業期間	2013 ～ -	運営形態	自治事務（全部直営）
担当所属	中央図書館		

事業概要

事業概要

図書館法第3条で図書館の業務として「学校教育を援助し」と定められている。学校の読書活動を支援していた自動車文庫は平成 24 年度で業務を終了したが、多くの学校から資料提供支援の要望があるため、代替業務として実施しているものである。各学校における教科学習、総合的な学習の時間等の教育活動を支援するとともに、児童の読書活動を推進するために行う。市内公立小学校へのセット貸出は令和6年度で業務を終了した。未就学児支援には令和2年度から取り組んでいる。

対象

市内公立保育園等、市内全公立小・中学校等の児童、生徒及び教員

手段

各学校の要望に応じた授業支援用の資料の貸出・配送、及び、市内公立保育園等へセット組みされた資料の貸出・配送を行う。

意図・成果

保育園等を通じて未就学児に対する読書活動支援を行う。授業支援用の資料を提供することにより、児童が授業での学習を深め、教員の教育上のサポートをする。図書館の資料を手にすることにより、図書館を身近に感じ、図書館利用者を育てることにつながる。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	資料貸出点数　単位：点	88536	85914	89364	89000	4600
	-　単位：-					
定性指標	2022年度達成結果	-				
	2023年度達成結果	-				
	2024年度達成結果	-				
	2024年度達成基準	-				
	2025年度達成基準	-				
指標分析	貸出点数の内訳はセット貸出（保育園・小学校等の定数配送）及び授業支援（先生依頼による随時配送）による貸出の冊数である。前年度比でセット貸出の希望学校数が増えたため、貸出点数の増加につながった。市内公立小学校へのセット貸出業務が令和6年度末で終了したため、今年度の目標値は下げている。子どもの自主的な学習活動、読書活動を支えるため、公立図書館による学校図書館支援は必要である。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	20750967	21017577	22127992
	人員（単位：人）	1.15	1.2	1.2

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	児童読書活動支援
担当所属	中央図書館

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	3	2	3	2	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	3	3	4	3	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	美術博物館企画展		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化芸術の振興
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	美術博物館		

事業概要
事業概要 ・美術博物館は、市民に優れた芸術・歴史資料の鑑賞と学習の場を提供し、歴史資料を良好な環境で保存し、資料等の劣化と滅失の防止を図ることを目的として、博物館法に定める施設として平成8年7月に建設された。 ・建設に際しては、第1期工事の収蔵庫棟と第2期工事の本館棟の分割建設で進められ、現在は収蔵庫棟内の展示室を活用して、年間5本程度の展覧会を開催している他、「やさしいミュージアム講座」、展覧会関連講座を実施している。 ・市民生活が多様化するなか、芸術鑑賞、歴史文化の学習など、様々な文化活動に参加したいという市民の要望に対応する必要がある。 対象 ・芸術鑑賞及び歴史文化の学習等、様々な文化活動に参加意欲を持っている市民 ・美術系、博物系に係る資料等の調査研究に取り組んでいる市民等 手段 ・令和6年度実施の展覧会の期間及び入場者数 「ひらいて、むすんで」　4/13～6/16（56 日間） 4,457 人 「QuizKnock と巡る江戸東京博物館展」　7/13～9/23（63 日間） 12,573 人 ＊改修工事により閉館中（令和8年7月開館予定） 意図・成果 ・施設の適正な維持管理のもと、様々な企画展を開催し、入場者の増加を図る。 ・市民ニーズを把握し、講演会や講座等、様々な文化活動に多くの市民が参加する機会を提供する。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	美術博物館入場者数　単位：人	12888	45525	17030	22000	0
	展覧会関連の講座等参加者数　単位：人	223	1428	850	850	0
定性指標	2022年度達成結果	目標数は達成できなかったが、幅広い年代の方に満足いただける展覧会を実施できた。				
	2023年度達成結果	目標を上回る 45,525 人の入場者があった NHK大河ドラマ特別展「どうする家康」を始め、幅広い年代の方に満足いただける展覧会を実施できた。				
	2024年度達成結果	台風や地震で不要不急の外出を避けなければならない時期があり、目標数は達成できなかったが、幅広い年代の方に満足いただける展覧会を実施できた。				
	2024年度達成基準	「QuizKnock と巡る江戸東京博物館展」を始め、幅広い分野の展覧会を企画し、市民満足度の高い展覧会を実施する。				
	2025年度達成基準	第２期改修工事を完了し、令和８年７月（予定）からの展覧会に向けての準備をする。				
指標分析	入場者数は、展覧会の内容や開催日数により大きく左右されるが、内容の充実を図ることや広報に力を入れることで、集客に努めた。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	44746979	124279382	62271164
	人員（単位：人）	5	4.6	5.42

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	美術博物館企画展
担当所属	美術博物館

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	3	3	4	4	1	2
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	3	4	3	4	3	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	3	3	4	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	展示備品整備		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化芸術の振興
根拠法令要綱	岡崎市美術品等収集委員会設置要綱、岡崎市博物資料収集委員会設置要綱		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）
担当所属	美術博物館		

事業概要
事業概要 ・資料の収集活動は、美術博物館の基本活動である公開展示や調査研究・教育普及を支える重要な活動であり、質の高いより多くの所蔵品を有することにより、市民の文化芸術享受の機会を増やす。 ・収集された優れた芸術作品及び貴重な歴史資料は、収蔵庫の良好な環境の中で保管・保存することにより、経年劣化や火災等での滅失を防ぎ、後世への永年保存を図る。 対象 ・芸術鑑賞や文化的教養の享受に意欲をもつ市民 ・美術や歴史の調査研究などに取り組む市民等 手段 ・購入・寄託・寄附の受入れ区分により、貴重な資料等の収集を図る。 ・芸術、歴史資料のもつ価値を客観的に把握するため、各分野の学識経験者で組織する「岡崎市美術品等収集委員会」、「岡崎市博物資料収集委員会」に諮問して、受入れの可否を決定する。 ・貴重な資料購入費を計上し、寄託や寄附と合わせ収蔵品収集の充実を図る。 意図・成果 ・収集資料を展示により一般公開し、美術品・博物資料に接する機会を提供する。 ・収蔵資料の調査研究を行い、情報の蓄積を行うことにより、市民の学習・調査研究などのニーズに対応する。 ・令和6年度の収集資料は 421 点で、内訳は購入 93 点、寄附 281 点、寄託 47 点であり、寄附資料及び寄託資料は個人からの受入である。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	美術・博物資料の収集保存点数　単位：点	27	378	421	100	100
	収集委員会の開催回数　単位：回	2	2	2	2	2
定性指標	2022年度達成結果	工事期間中に収蔵庫への立ち入りができなかったため、資料の受入れを一部制限したが、収集委員会を開催し、良質な芸術、歴史資料等を受け入れることができた。				
	2023年度達成結果	収集委員会を予定通り開催し、良質な美術・歴史資料等を受け入れることができた。				
	2024年度達成結果	収集委員会を予定通り開催し、良質な美術・歴史資料等を受け入れることができた。				
	2024年度達成基準	令和6年度収集委員会（美術品等・博物資料）の開催回数：2回				
	2025年度達成基準	令和７年度収集委員会（美術品等・博物資料）の開催回数：2回				
指標分析	令和6年度の収集資料点数は目標より上回ったが、資料等の収集活動は、市民からの寄附・寄託の申し出によるもので、寄附・寄託者の状況により収集資料の数に変動がある。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	3822460	1772010	2513730
	人員（単位：人）	1.3	1.1	1.8

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	展示備品整備
担当所属	美術博物館

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	3	2	4	2	3	2
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	3	4	3	3	3	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	3	3	4	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	市史料叢書出版		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	歴史文化の継承と活用
根拠法令要綱	岡崎市史料叢書出版事業編集委員会設置要綱		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）
担当所属	美術博物館		

事業概要

事業概要
・岡崎市の歴史を伝える資料を翻刻し、叢書として出版する事業。本事業は市史編纂事業のなかで収録できなかった資料、さらには市史編纂事業後に新出したもののなかから、歴史的価値の高い資料をまとめて翻刻、活字化して出版するものである。
・平成 29 年度、瀧山寺文書上巻刊行。
・平成 30 年度、瀧山寺文書下巻刊行。
・令和4年度、岡崎町方文書刊行。

対象
・地域の歴史、文化などに興味、関心を持ち、学習したり調査研究に取り組んでいる市民等。

手段
・岡崎古文書研究会などによる史料の翻刻、解読、叢書の原稿作製。
・市政だより及びチラシ、雑誌広告による PR を行い、瀧山寺文書、大樹寺文書、岡崎町方文書等の出版物の販売を行う。
・令和8年度に本多家文書の発刊を目指し、刊行作業を進める。

意図・成果
・市民等が地域の歴史、文化に興味を持ち地域に対する意識が高まるとともに、市民等の調査研究者への歴史、文化に関する情報提供に供することができる。
・散逸または劣化する歴史資料を記録保存できる。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	史料叢書売上冊数 単位：冊	11	45	10	20	20
	-　単位：-			-	-	

定性指標		
	2022年度達成結果	「岡崎町方文書」を刊行し、地域の歴史資料を多くの方に知っていただく機会を提供できた。
	2023年度達成結果	次期刊行に向けて史料翻刻と入力原稿の作成を進めることができた。
	2024年度達成結果	次期刊行に向けて史料翻刻と入力原稿の作成を進めることができた。
	2024年度達成基準	次期刊行に向けて、引き続き史料翻刻と入力原稿の作成を進める。
	2025年度達成基準	「本多家文書」刊行に向けて、引き続き史料翻刻と入力原稿の作成を進める。
指標分析	令和6年度も前年度と同様、目標値を 20 冊とした。貴重な地域の歴史資料であるため継続的にPRしていきたい。	

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	2064444	368940	571240
	人員（単位：人）	1.1	0.4	0.45

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	市史料叢書出版
担当所属	美術博物館

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	2	4	2	4	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	3	3	3	3	3	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	3	4	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	美術博物館管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	岡崎市美術博物館条例、岡崎市美術博物館管理規則		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	美術博物館		

事業概要
事業概要 ・美術博物館は、市民に優れた芸術・歴史資料の鑑賞と学習の場を提供し、歴史資料を良好な環境で保存し、資料等の劣化と滅失の防止を図ることを目的として、博物館法に定める施設として平成8年7月に建設された。 ・建設に際しては、第1期工事の収蔵庫棟と第2期工事の本館棟の分割建設で進められ、現在は収蔵庫棟内の展示室を活用して、年間5本程度の展覧会を開催しているたが、令和6年9月末より第2期改修工事のため休館し、令和8年7からの再開を予定している。 ・市民生活が多様化するなか、芸術鑑賞、歴史文化の学習など、様々な文化的活動に参加したいという市民の要望に対応する必要がある。 対象 ・芸術鑑賞及び歴史文化の学習等、様々な文化的活動に参加意欲を持っている市民 ・美術系、博物系に係る資料等の調査研究に取り組んでいる市民等 手段 ・施設の適正な維持管理のもと、美術博物館の運営を行う。 ・美術博物館協議会を開催し、企画展等に関する意見をいただき、適正な運営を図る。 ・研究紀要及び機関誌（アルカディア：年4回）の発刊により、館のPRを図る。 ・美術資料、歴史資料の調査研究を行う。 ・美術博物館の収蔵庫機能、展示施設機能を維持するため、施設・設備の保全を図る。 ・美術博物館の改修を行う（令和6年度9月末～令和8年度6月末まで休館予定）。 意図・成果 ・施設の適正な維持管理のもと、様々な企画展を開催し、入場者の増加を図る。 ・広範な芸術文化を享受できる機会を提供するとともに、美術博物館が開設する講座等のニーズを把握し、様々な文化活動に多くの市民が参加できる機会を提供する。 ・建物に付随する機器等の適正な維持管理整備を図り、美術博物館の収蔵庫機能、展示施設機能を中期にわたって維持する。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	美術博物館入場者数　単位：人	12888	45525	17030	22000	0
	展覧会関連の講座等参加者数　単位：人	223	1428	850	850	0
定性指標	2022年度達成結果	施設・設備の適正な維持管理を行い、来館者の安全性と快適性を確保するとともに、展示のために借用した資料、所蔵品等を良好な環境で展示・保管することができた。				
	2023年度達成結果	施設・設備の適正な維持管理を行い、来館者の安全性と快適性を確保するとともに、展示のために借用した資料、所蔵品等を良好な環境で展示・保管することができた。				
	2024年度達成結果	施設・設備の適正な維持管理を行い、来館者の安全性と快適性を確保するとともに、展示のために借用した資料、所蔵品等を良好な環境で展示・保管することができ、第２期工事実施。				
	2024年度達成基準	施設・設備の適正な維持管理を行い、来館者の安全性と快適性を確保するとともに、展示のために借用した資料、所蔵品等を良好な環境で展示・保管する。9月末より第２期改修工事を実施。				
	2025年度達成基準	第２期改修工事を完了し、令和８年７月（予定）からの展覧会に向けての準備をする。				
指標分析	入場者数は、展覧会の内容により大きく左右されるが、安全性と快適性を確保しながら展覧会の開催に努めた。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	895505314	185530400	249383114
	人員（単位：人）	5.41	4.81	6.94

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	美術博物館管理運営
担当所属	美術博物館

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	3	3	4	3	4	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	3	4	3	4	3	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	3	3	4	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	地域文化広場企画展		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化芸術の振興
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	岡崎地域文化広場		

事業概要
事業概要 「おかざき世界子ども美術博物館」の核となる教育事業。子どもたちが、本物の文化、芸術に触れることで美術への関心を高め、広い視野と豊かな創造力が身に付くような展覧会を実施する。 対象 市民等（来館者、主に子ども） 手段 　芸術、文化の鑑賞機会を提供するため、子どもを対象とした魅力ある企画展を年に5回程度開催する。世界の文化や風習が描かれた子どもたちの絵や世界の有名美術家が10代の頃に描いたメインコレクション「巨匠たちの１０代」作品及び世界各国のおもちゃや民芸品等を常設展示し、また障がいのある子どもたちが制作したアートを紹介する常設展「子どもたちのアール・ブリュット」を開催する。 意図・成果 　多くの子どもたちが来館し、本物の芸術作品を鑑賞する機会を提供することで芸術文化に親しむようになり、関心を持つ子どもたちが増える。親子や友達と鑑賞したり、企画展に参加体験することにより、親と子のふれあいや子ども同士の友情を深めることができる。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	企画展入場者数　単位：人	84274	103385	104013	74300	79300
	-　単位：-					
定性指標	2022年度達成結果	参加体験型の企画展を含めて年間5回程度開催するとともに、企画展に関連したワークショップ等のイベントも開催することができた。				
	2023年度達成結果	参加体験型の企画展を含めて年間5回程度開催するとともに、企画展に関連したワークショップ等のイベントも開催することができた。				
	2024年度達成結果	参加体験型の企画展を含めて年間5回程度開催するとともに、企画展に関連したワークショップ等のイベントも開催することができた。				
	2024年度達成基準	参加体験型の企画展を含めて年間5回程度開催するとともに、企画展に関連したイベントも充実させる。				
	2025年度達成基準	参加体験型の企画展を含めて年間5回程度開催するとともに、企画展に関連したイベントも充実させる。				
指標分析	魅力ある参加体験型の企画展等を開催し、目標を達成することができた。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	30027851	32669635	37166907
	人員（単位：人）	5.68	7.1	6.63

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	地域文化広場企画展
担当所属	岡崎地域文化広場

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	4	4	3	3	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	3	4	1	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	4	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	親子造形センター運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部委託）
担当所属	岡崎地域文化広場		

事業概要
事業概要 「おかざき世界子ども美術博物館」の教育機能と連動させ、誰でも気軽に創作活動が行えるように制作の指導をすることで、創作活動を通して、親と子の心のふれあいや、子ども同士の友情を深める機会を提供する。 対象 市民等（主に子どもとその親） 手段 　親子造形センター運営を委託することにより、事業を実施する。　　委託内容については、気軽に創作活動ができる４つの教室（絵画教室、粘土教室、工作教室、EBアート教室）等を運営し、制作活動の指導を行う。企画展とのコラボ企画や季節行事等にあわせ、テーマを決めて創作活動を指導する特別教室を企画実施する。 意図・成果 　親子教室やテーマ毎の特別教室の運営により参加者が創作活動の素晴らしさを体験し、芸術文化への関心を持ち楽しむ人が増える。また、親子や友だちと創作活動を実施することにより親子のふれあいや子ども同士の友情を深めることができる。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	親子造形センター利用者数　単位：人	80099	92706	94027	79900	80000
	-　単位：-					
定性指標	2022年度達成結果	-				
	2023年度達成結果	-				
	2024年度達成結果	-				
	2024年度達成基準	-				
	2025年度達成基準	-				
指標分析	魅力ある親子教室やテーマ毎の特別教室を適切に運営し、目標を達成することができた。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	43791000	44140800	52800000
	人員（単位：人）	0.3	0.4	0.31

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	親子造形センター運営
担当所属	岡崎地域文化広場

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	4	4	4	2	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	4	4	1	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	4	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	地域文化広場管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	岡崎地域文化広場		

事業概要
事業概要 「おかざき世界子ども美術博物館」を主施設とする岡崎地域文化広場を適切に維持し管理運営を行う。 対象 市民等（来館者） 手段 　施設維持管理のために必要な施設設備（公共建築物、空調設備、トイレ消臭装置、非常通報装置、消防設備、自家用電気工作物、昇降機、遊具）等の保守点検業務はじめ清掃、警備、樹木管理、駐車場整理、くん煙等の委託業務や物品の調達及び施設設備（建物、工作物、機械器具、庁用器具等）の修繕業務を実施する。 意図・成果 来館者が安全に快適に本施設を利用することができる。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	施設入館者数　単位：人	192918	223668	228535	138000	143000
	-　単位：-					
定性指標	2022年度達成結果	施設の維持管理、物品の調達等、計画通りに執行でき、来館者の利便性を図ることができた。				
	2023年度達成結果	施設の維持管理、物品の調達等、計画通りに執行でき、来館者の利便性を図ることができた。				
	2024年度達成結果	施設の維持管理、物品の調達等、計画通りに執行でき、来館者の利便性を図ることができた。				
	2024年度達成基準	適切な時期に入札等を実施し業務契約を締結し施設の維持管理を行う。また、予算の範囲内において、適切な時期に計画的に必要な物品を調達し、来館者の利便性の向上を図る。				
	2025年度達成基準	適切な時期に入札等を実施し業務契約を締結し施設の維持管理を行う。また、予算の範囲内において、適切な時期に計画的に必要な物品を調達し、来館者の利便性の向上を図る。				
指標分析	「おかざき世界子ども美術博物館」を主施設とする岡崎地域文化広場を適切に維持し管理運営ができた。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	113112796	84388790	87804690
	人員（単位：人）	3.24	3.04	2.85

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	地域文化広場管理運営
担当所属	岡崎地域文化広場

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	4	4	3	4	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	4	4	4	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	3	3	3	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：一般型

業務活動名	展示備品整備（地域文化広場）		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化芸術の振興
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）
担当所属	岡崎地域文化広場		

事業概要
事業概要 有名美術家 10 代の作品など、おかざき世界子ども美術博物館の展示及び調査研究に用いる美術・博物の資料等の保存のための収集を行う。 対象 ・市内外の子ども達はじめ芸術鑑賞等のため来館する市民等 手段 　購入、寄託、寄附の保存区分により、劣化或いは滅失等防止のための収集活動を図る。岡崎市美術品等収集委員会の開催を基に、保存活動を推進する。 意図・成果 　収集した資料を企画展及び常設展示等で一般公開することにより、子どもたちが芸術作品等に接する機会を提供　　することができる。また収蔵作品の調査研究を行い、情報の整理蓄積を行うことで、子どものみならず、市民や市外からの入館者にも新たな芸術鑑賞の機会を提供できるように活用していく。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	有名美術家10代の作品収集点数　単位：点	1	4	1	1	1
	-　単位：-					
定性指標	2022年度達成結果	2021 年度に寄付していただいた画家及びインド美術研究家の畠中光享 10 代の作品と比較する大人になってからの作品1点を収集した。				
	2023年度達成結果	2022 年に企画展を開催した駒形克己（造本作家・デザイナー）の初期の作品 3 点と近年の作品 1 点を収集した。				
	2024年度達成結果	前田利昌（洋画家）18 才時の作品1点を、作家本人からの寄付により収集した。				
	2024年度達成基準	当館の主要コレクションである有名美術家の 10 代の作品等を収集する。				
	2025年度達成基準	当館の主要コレクションである有名美術家の 10 代の作品等を収集する。				
指標分析	当館の主要コレクション有名美術家 10 代の作品等充実のため、新たな作品を収集できた。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	153020	0	0
	人員（単位：人）	0.1	0.17	0.12

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	展示備品整備（地域文化広場）
担当所属	岡崎地域文化広場

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	4	4	4	4	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	4	4	3	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	4	

令和７年度　業務活動評価表　　評価区分：維持管理型

業務活動名	美術館管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）
担当所属	美術館		

事業概要

事業概要
昭和47年8月に愛知県美術館に次ぐ県下2番目の美術館として開館した岡崎市美術館は、地域の美術等芸術文化の拠点施設として現在に至っている。郷土作家の美術作品の収集展示、また美術活動に親しむ団体等の作品発表の場としてのギャラリー機能を担っている。隣接している旧図書館の建物についても、平成21年6月からは美術館東館として管理運営している。美術館そしてギャラリーとしての両面の機能を果たすため、適切で効率的な施設の管理・運営に努めているが、建築後50年が経過し、施設の老朽化が目立つため、計画的な保全及び適切な管理が必要となっている。

対象
文化芸術活動に参加意欲や関心を持つ市民及び一般の市民

手段
下記のとおり施設の適正な維持管理を基に美術館の運営管理を行っている。　・空調設備保守点検（空調設備の運転前・運転中・運転終了後の各部点検及び調整を実施）　・消防用設備保守点検（年1回機能点検を9月、総合点検を3月に実施）・清掃委託（日常清掃・定期清掃・特別清掃を実施）　・昇降機保守点検（年に6回、奇数月に実施）及び来館者用エレベーター保守点検　・警備委託（火災・盗難及び特定異常状態の感知・通報・連絡措置）　・建物修繕、工作物修繕　等を実施　・常設展示の展示替えと作品管理　・収蔵庫の作品管理

意図・成果
施設の適正な維持管理により、美術館そしてギャラリーとしての運営管理を行い、施設利用者に対して利便性の向上を図るとともに、広範な芸術文化を享受できる機会と様々な文化活動に多くの市民が参加できる機会を提供している。また、建物に付随する機器等の適正な維持管理整備を図ることにより、美術館の収蔵庫機能、展示施設機能を長期にわたって維持している。

指標

定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	美術館入館者数　単位：人	77018	64438	69426	60000	60000
	展示室稼働率　単位：%	67.6	64.3	50	50	50

定性指標	
2022年度達成結果	-
2023年度達成結果	
2024年度達成結果	
2024年度達成基準	
2025年度達成基準	
指標分析	入館者数及び展示室稼働率共に目標値を達成した。

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等（単位：円）	51161083	76505588	32809939
	人員（単位：人）	5.14	4.84	5.1

令和７年度　業務活動評価表

業務活動名	美術館管理運営
担当所属	美術館

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。（時間外勤務が少ない。）
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	3	3	3	3	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	2	2	3	3	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない（あるいは着手されていない）問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	3	3	3	3	